

参 考 資 料

1 アンケート調査結果の概要（次世代育成支援後期行動計画）	55
2 関係団体ヒアリング調査結果	67
3 江南市の現状	74
4 特定12事業の目標事業値	97
5 江南市次世代育成支援行動計画策定協議会設置要綱、委員名簿	107
6 江南市次世代育成支援行動計画策定委員会設置要綱	109
7 計画の策定経過	110

1 アンケート調査結果の概要

1 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、就学前児童と小学生をもつ保護者の、保育などに対するニーズを把握することにより、次世代育成支援行動計画に反映させることを目的として実施したものです。なお、この調査結果は、江南市の保育サービスの必要量やそのあり方を検討する資料としても活用しました。

2. 調査の方法

(1) 実施期間

平成21年2月18日～3月9日（調査基準日 平成21年1月1日）

(2) 調査対象者

市内在住の就学前（0歳児～5歳児）及び小学校児童を対象に無作為抽出し、調査票への記入は、保護者の方にお願ひしました。

(3) 配布・回収方法

郵送により、配布・回収を行いました。

3. 配布・回収状況

対象	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	無効回答数 (人)	有効回答数 (人)	有効回答率 (%)
就学前児童 (0歳児～5歳児)	1,200	704	58.7	0	704	100.0
小学校児童	1,200	698	58.2	2	696	99.7

※調査票に記入のないものを無効回答としました。

4. 調査結果の分析を読む際の注意点

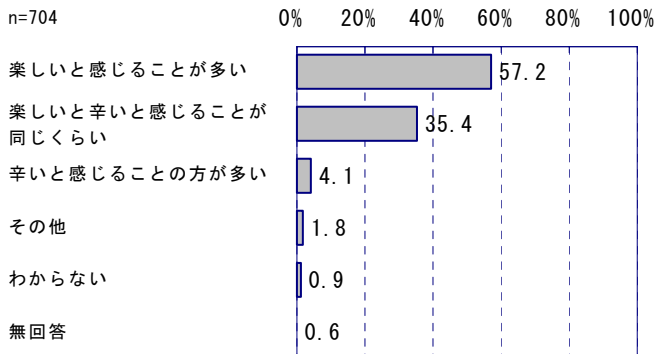
- ① 「n=数値」は質問に対する無回答（不明）を含む集計対象総数で、割合算出の基準です。
- ② 割合は、nに対する各選択肢の百分率（%）で小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、割合の合計が100.0%になるように個々の選択肢の割合を調整しています。
- ③ 一人の回答者が2つ以上の回答（複数回答）をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100.0%を超えています。

2 調査結果

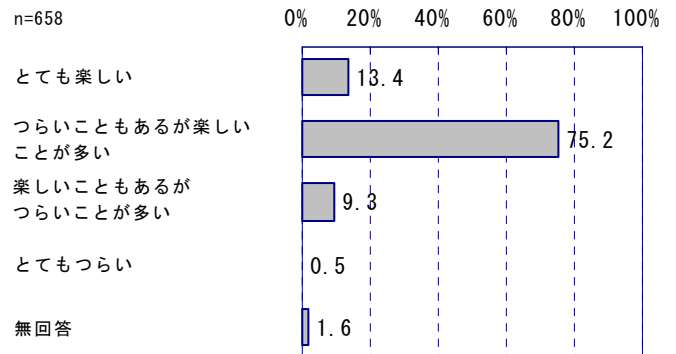
1. 子育ての充実度

【就学前児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

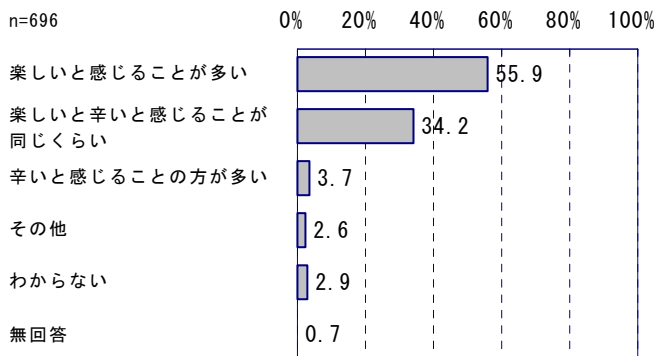


【前期計画時（平成 16 年）】

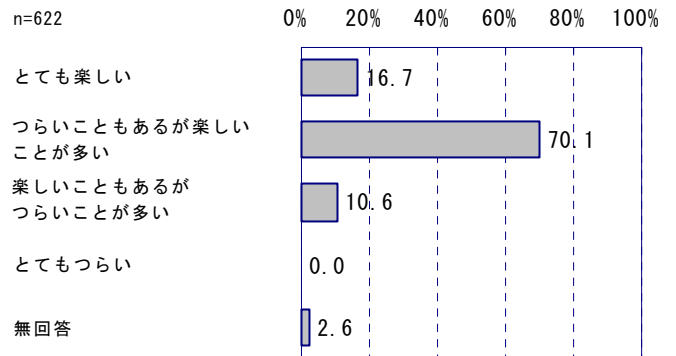


【小学校児童】

【後期計画時（平成 21 年）】



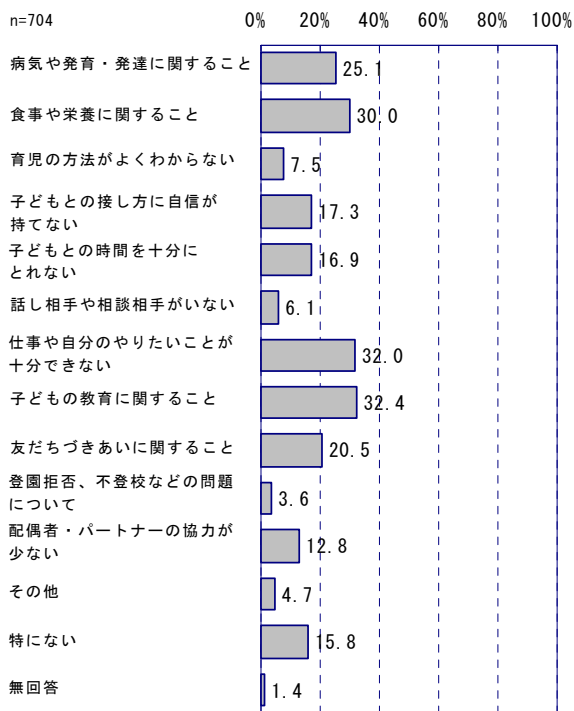
【前期計画時（平成 16 年）】



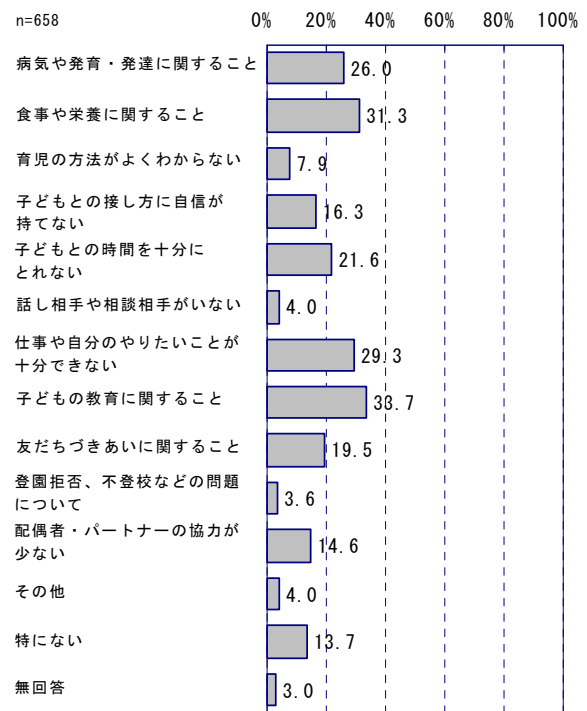
2. 子育てに関する悩みごと

【就学前児童】

【後期計画時（平成21年）】

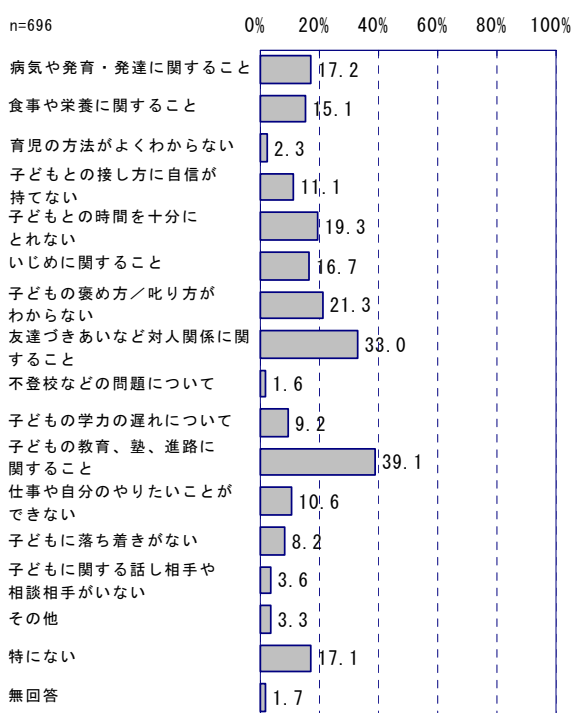


【前期計画時（平成16年）】

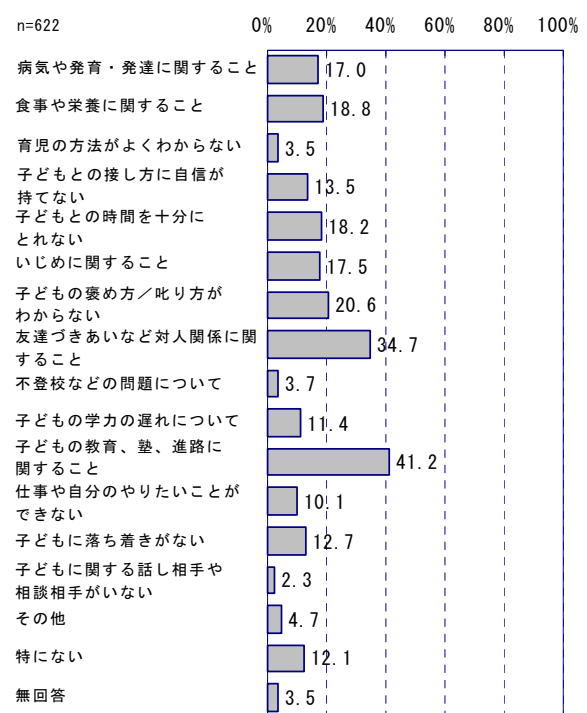


【小学校児童】

【後期計画時（平成21年）】



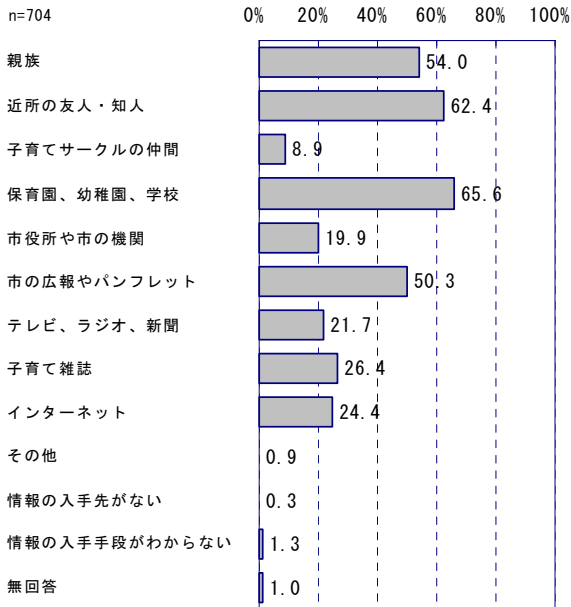
【前期計画時（平成16年）】



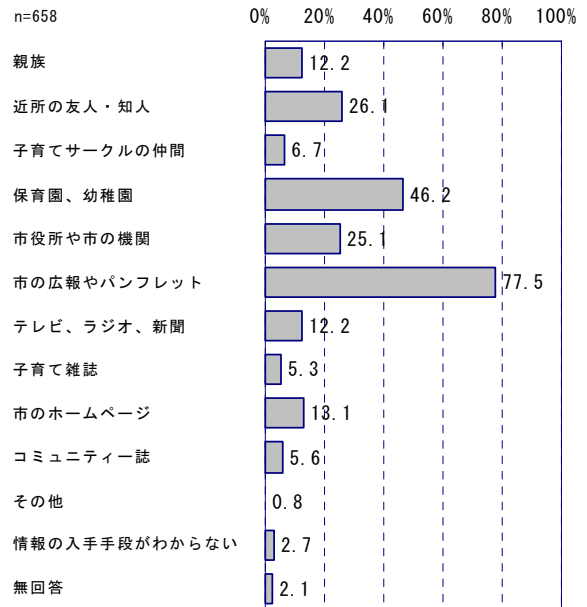
3. 子育てに関する情報の希望入手先

【就学前児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

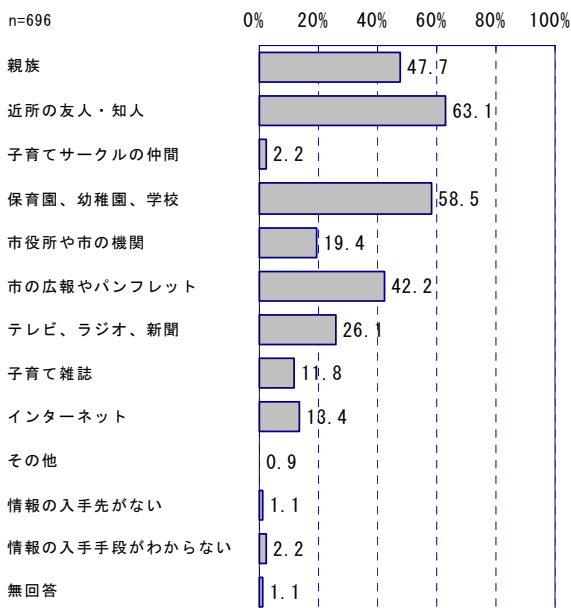


【前期計画時（平成 16 年）】

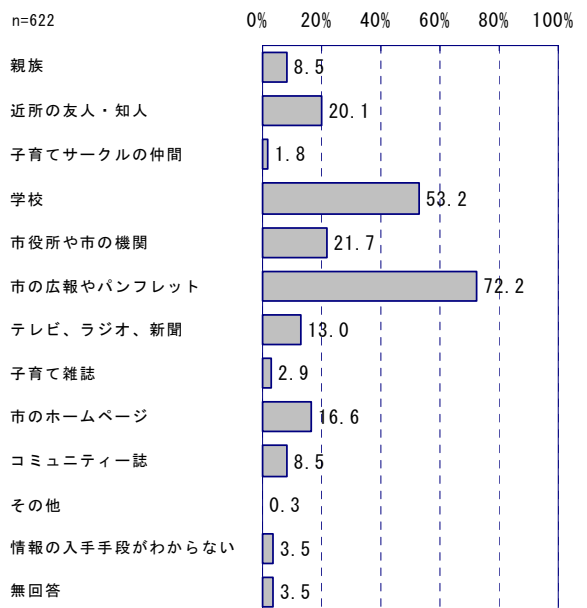


【小学校児童】

【後期計画時（平成 21 年）】



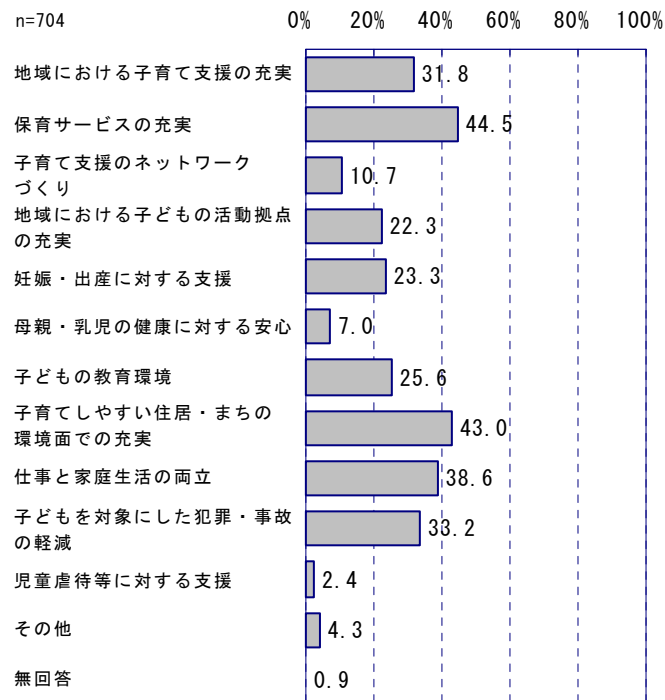
【前期計画時（平成 16 年）】



4. 有効と思われる支援・対策

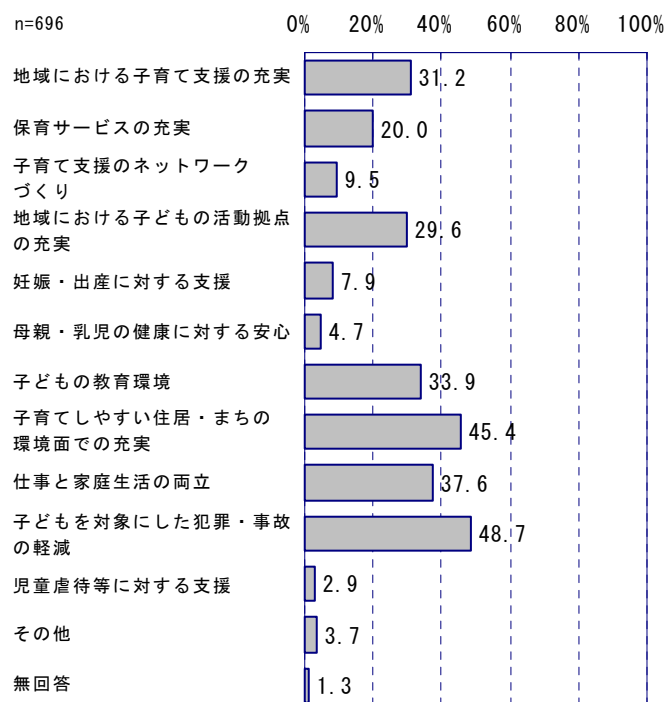
【就学前児童】

【後期計画時（平成 21 年）】



【小学校児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

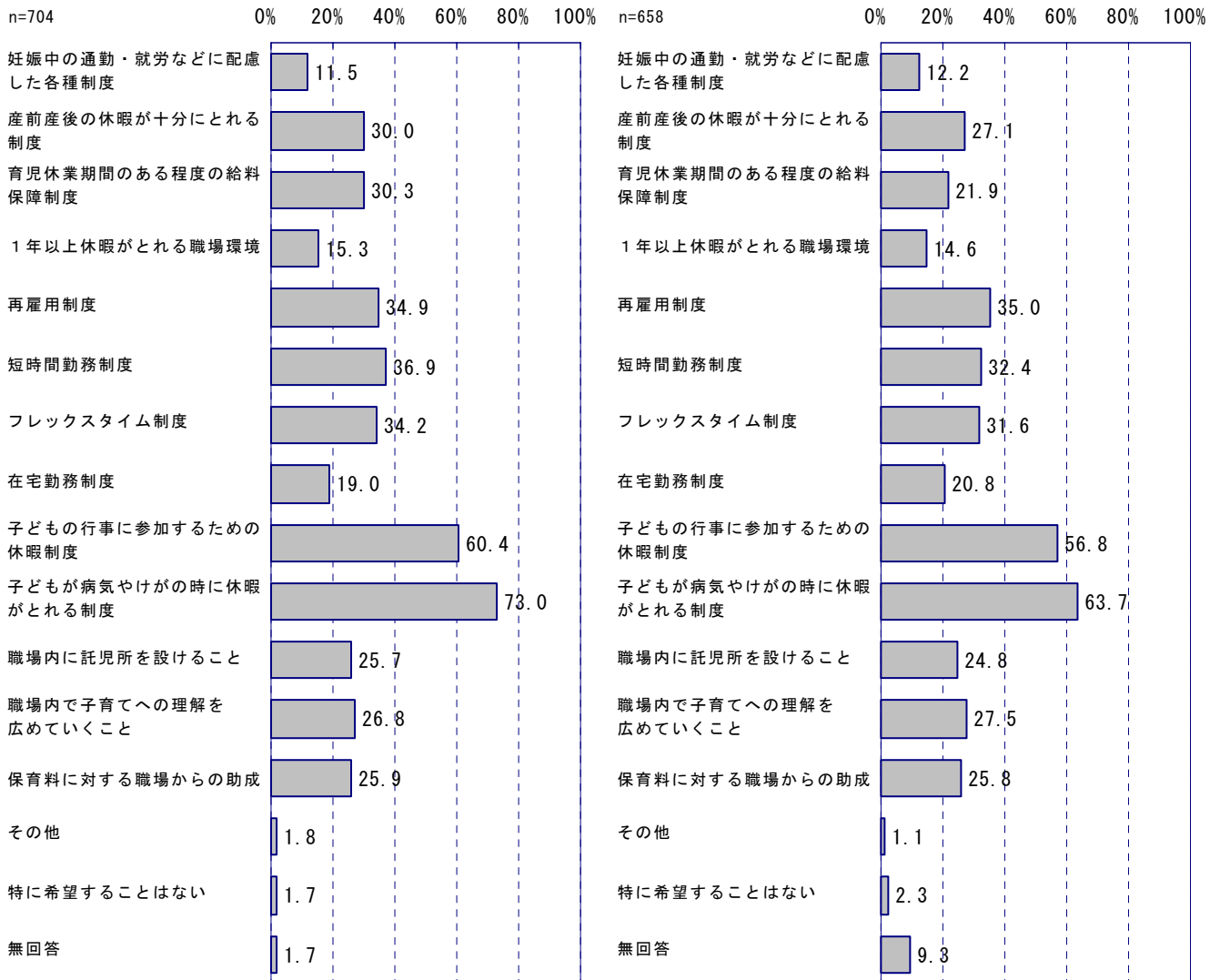


5. 職場環境に望むこと

【就学前児童】

【後期計画時（平成21年）】

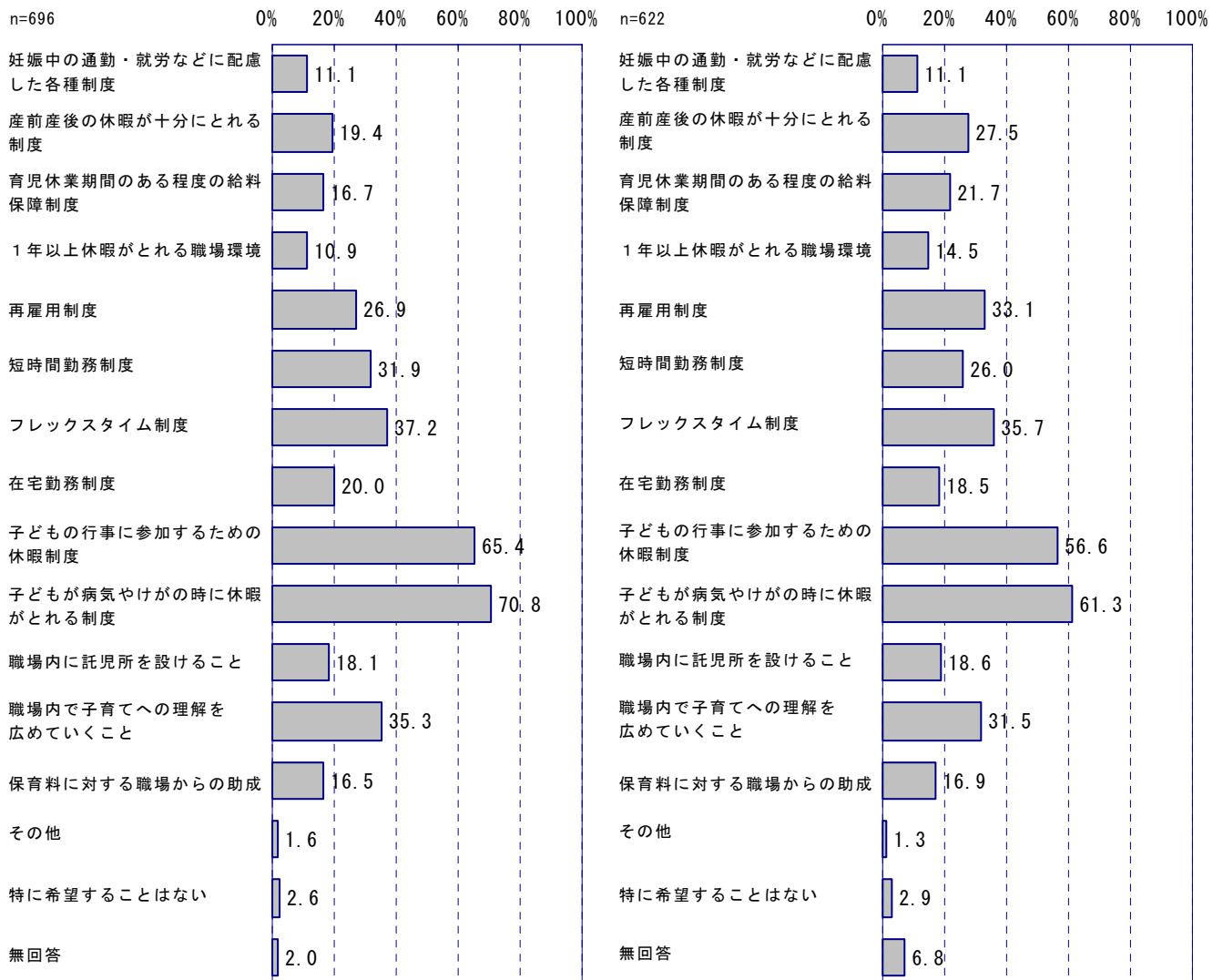
【前期計画時（平成16年）】



【小学校児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

【前期計画時（平成 16 年）】

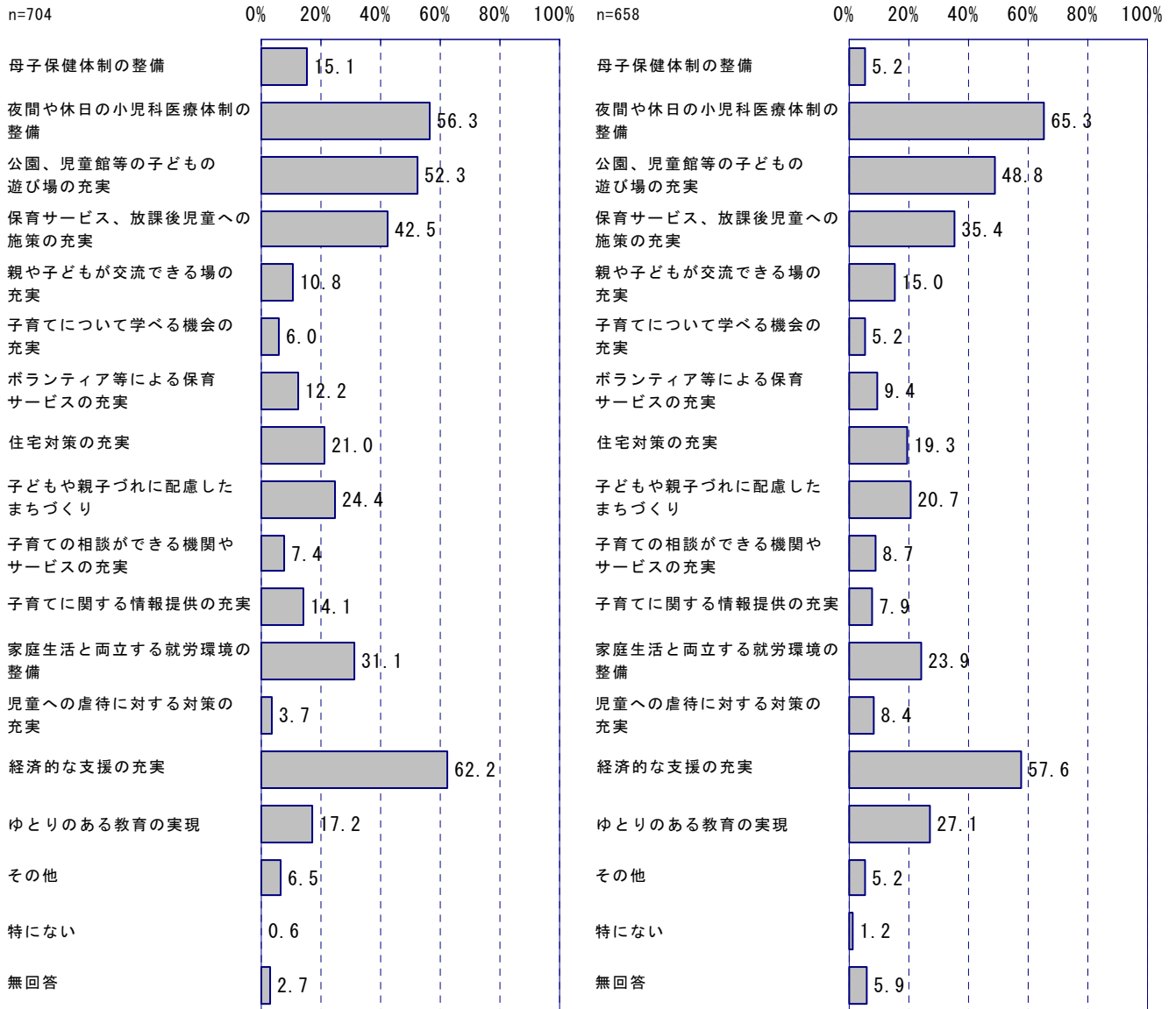


6. 行政に望むこと

【就学前児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

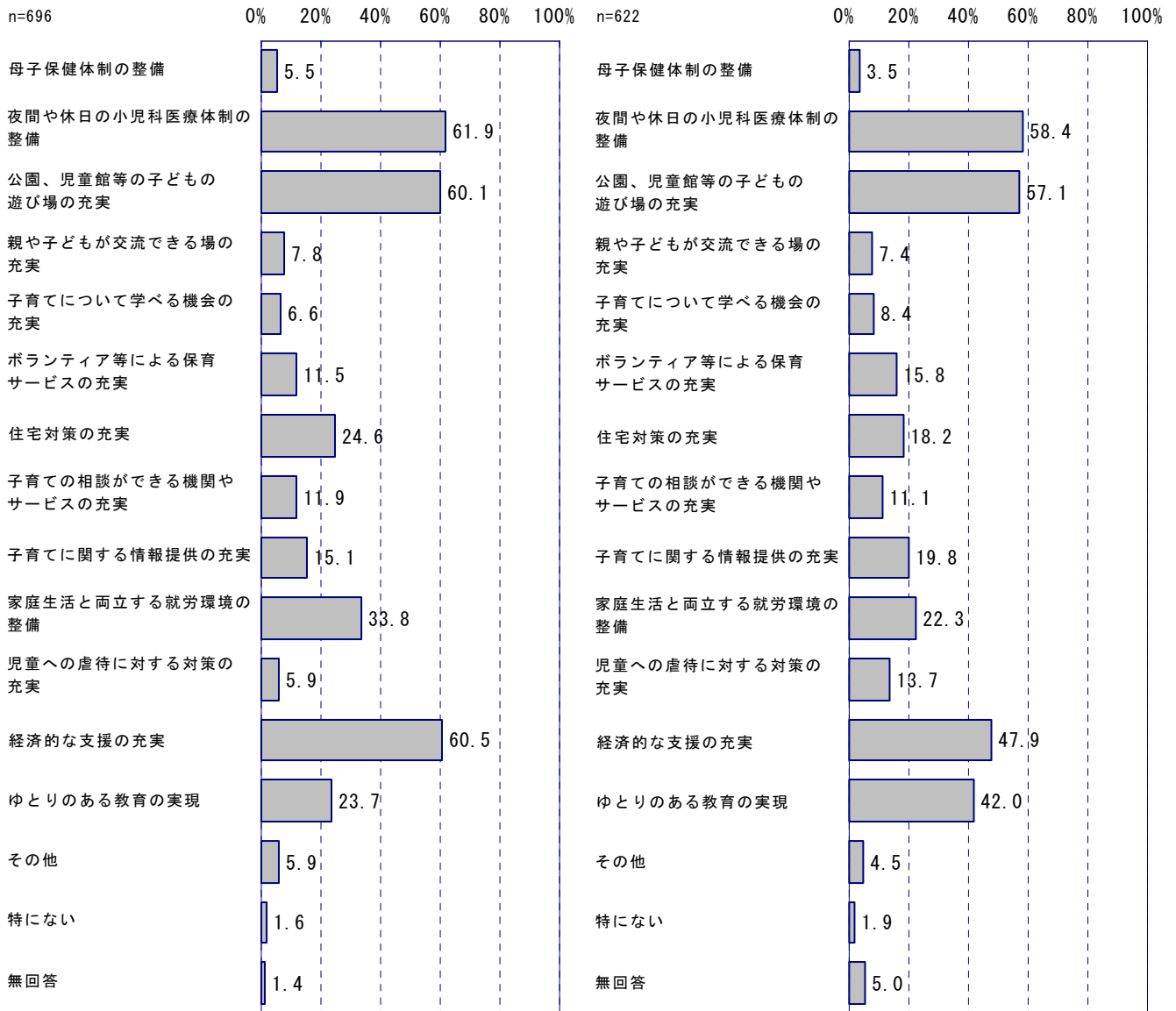
【前期計画時（平成 16 年）】



【小学校児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

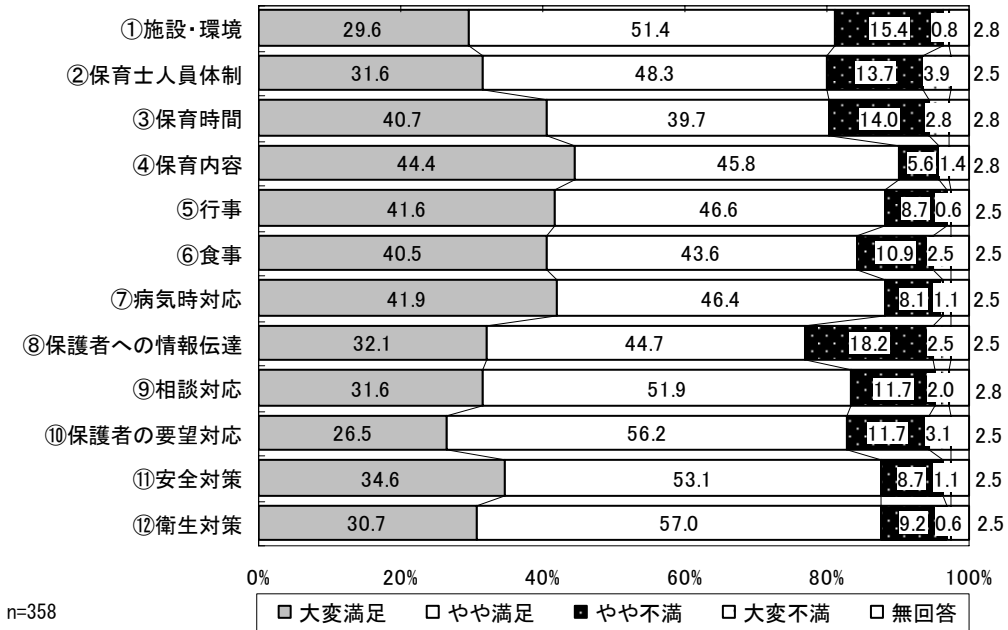
【前期計画時（平成 16 年）】



7. 保育園・幼稚園の施設満足度

【就学前児童】

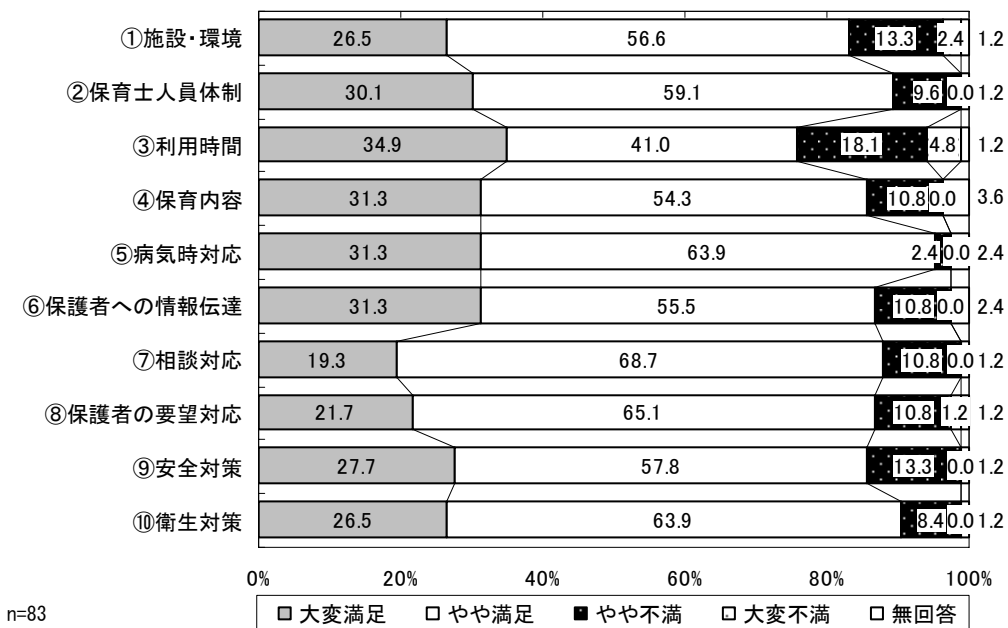
【後期計画時（平成 21 年）】



8. 学童保育施設の満足度

【小学校児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

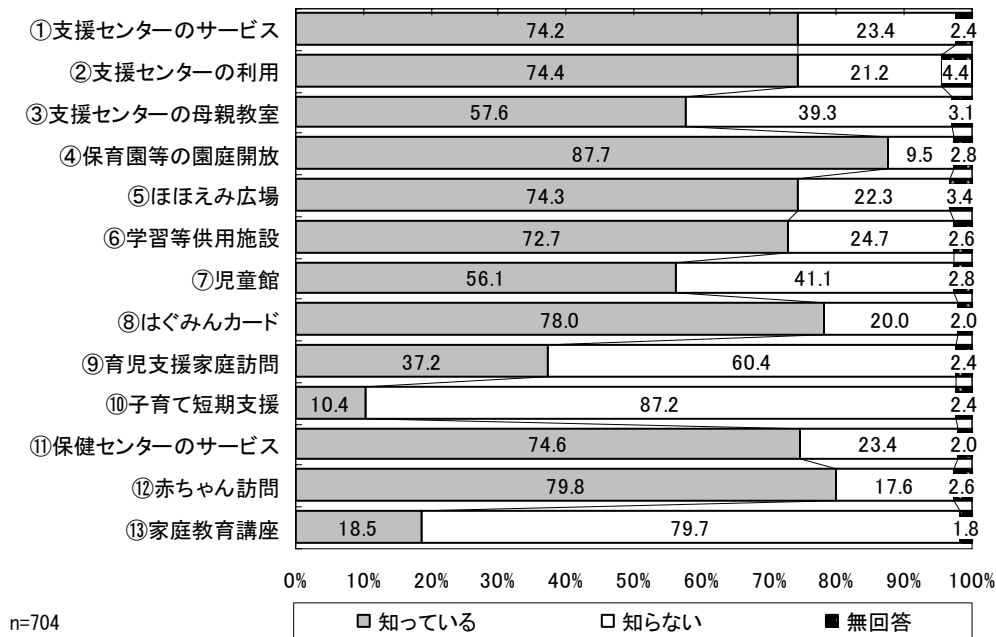


9. 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用意向

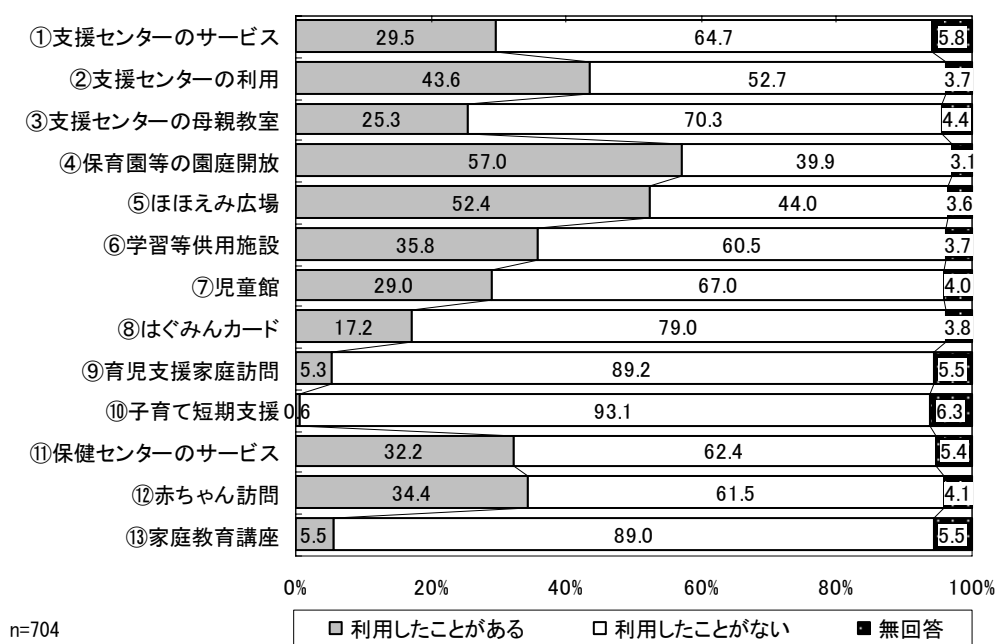
【就学前児童】

【後期計画時（平成 21 年）】

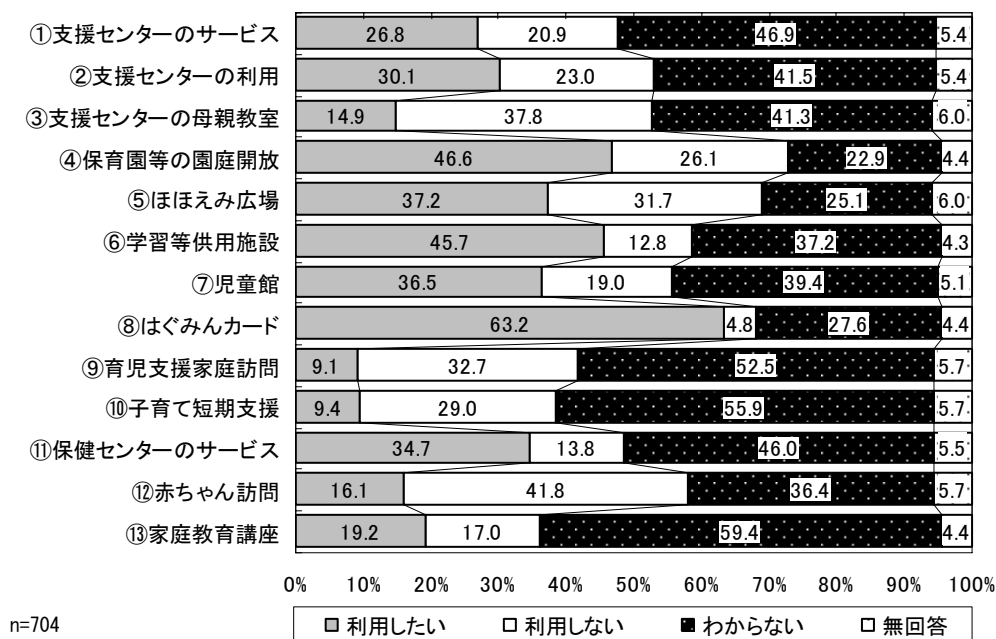
【認知度】



【利用度】



【利用意向】



n=704

2 関係団体ヒアリング調査結果

1 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、アンケート調査からでは把握しきれない項目を、次世代育成支援という観点から、江南市内の関係団体、関係機関に対して活動内容や意識、課題などを中心に把握し、計画策定の参考資料とする事を目的として行ったものです。

2. 調査の方法

(1) 実施期間

平成21年8月25日～9月1日

(2) 調査対象者

江南市内の保育園に勤務する保育士
江南市内の幼稚園に勤務する教員
江南市内の小学校に勤務する教員
民生児童委員
子育てサークル・ボランティアサークル
江南短期大学女子学生
児童を持つ母親

(3) 配布・回収方法

ヒアリングシートへの記入方式

2 主な意見

■子育て支援において特に重点を置いていることについて

自分自身が子どもの時を思い考えてみると、親心を理解していなかったと、反省の気持ちばかり、思い返されます。きちんと目を見て話すという事を一番に考えています。目を見れば言葉以外の心も見えてきます。	児童を持つ母親
育児をしながら仕事をしているので、子どもにはさみしい思いをさせたくないと思っています。なるべく保育園に早くお迎えに行けるよう、小学校なら帰ってくる時間には家にいてあげたいと常に思っている。	児童を持つ母親
子どもたちが夢に向かっているのを一緒に悩み考えてあげ協力してあげる。その為にどうしたらいいのかを探してあげる。	児童を持つ母親
保護者が子どもの将来についてどんな考えや希望を持っているのかを把握して、その実現のためにどんな手だてが必要かを考えて支援していきたい。	保育士・教師
授業についていけない子、理解できない子を少しでも理解できるように導いていく事を重点においている。	保育士・教師
子育て中の母親に子育ての悩みを聞きながら、自分の子育ての経験から得たことをアドバイスをしたり、子育てが楽しいものであることを伝えたりしている。又、働きながら子育てをすることの大変さにも耳を傾け、一緒に悩んだり考えたりしながら、エールを送るようにしている。	保育士・教師
親と子どもの間に同じ楽しみを持つ事です。子どもが楽しいと感じている物に対して、親も笑顔で楽しめる事が大事だと思います。	児童を持つ母親
子どもと地域の人との関わりを持つことにより子どもたちの健やかな成長を見守る。日常のあいさつ、定期的な少年補導、声掛け、赤ちゃんの生まれた家庭を訪問し母親に必要な支援をする。	民生児童委員
社会性が身につくように、なるべく多くの他の子どもと遊ばせたり、大人と触れ合って家族以外の人との関わりを持つこと。	子育てサークル
サークルではおもちゃを取られたりあやまったり仲なおりしたり、家庭では経験できないことが子どもの心の発達には良いと思っています。	子育てサークル
心身の発達や育ちの過程において、子ども一人ひとりの存在を大人がしっかりと認めてあげることが大切だと思います。	子育てサークル
共働きの親とのコミュニケーションの時間が少ないと感じます。もっと親と子どもが、コミュニケーションをとることが大切だと思います。	女子大生
親は子どもの思っている気持ちをできる限り理解することが大切だと思います。また、子どもの思いを知って対応する時と、知らずに対応する時とは子どもの気持ちの寄り添い度が違い、その違いによって子どもの気持ちが豊かになると思います。	女子大生

■現在抱えている課題や悩みなどについて

昔とは違い、一人で外で遊ばせる場が少ない。子ども同士だけでは、安全面への対応ができなくなっている。公園などのトイレ、デパートやスーパーでの買い物など、あらゆる所での安全性が心配される。インターネットや携帯電話の普及により、正しい使い方をどう伝えていくかなど。	児童を持つ母親
最近は急いで迎えに来る保護者もいて、あまり会話が出来ない事があるので、ゆとりを持てると良いと思います。	保育士・教師
子どもたちが大きくなった時の教育費。反抗期の息子にどう対応するか。	児童を持つ母親
食べ物の好き嫌が多いこと。言葉づかいが悪いこと。勉強を見てあげたり、遊んであげる時間があまりとれないこと。	児童を持つ母親
子どもを預けっぱなしにしないよう、親に子育てをする喜び楽しさを伝えていく難しさ。	保育士・教師
異年齢の子ども同士がなかなか一緒に遊べない。	児童を持つ母親
子どもへの虐待の早期発見。地域のつながりが希薄になっている状況で情報を得るむずかしさがある。	民生児童委員
働く親として多少負担があったとしても、4年生からも学童保育のような受け入れ先があるといいと思う。	子育てサークル
母親は子どもと家で孤立しがちになり社会から閉ざされたように感じます。子どもが幼いうちに保育園に入れて仕事に復帰しても「長時間の保育は子どもがかわいそう」「自分が仕事でない時は子どもと一緒にいるべきだ」など新たなプレッシャーがかかります。「肩の力を抜いていいんだよ」とか「適当でいいんだよ」と言ってくれる人がそばにいてくれたらずいぶん楽になります。	子育てサークル

■江南市の理想の姿について

小さな子どもや母親が、友達になれる場として公園など野外での活動場所があればいいと思います。“ほほえみ広場”“幼稚園の遊びの会”なども、とても感謝しておりますが、野外で遊ぶことが少ない中、お日さまの下で元気よく親子と一緒に遊べる場を計画していただきたいと思います。	児童を持つ母親
生涯教育の考えから施設の整備（保育園、学校、公園、図書館、体育施設など）で、だれもがたやすく利用できるもの。子育てサポートセンター的な施設で、子育てについていつでも相談できるところがあると良い。	保育士・教師
親同士の関わりが持てる体制作りや、障害のある子を持つ家族がもっと地域に受け入れられる環境や体制作りが必要では。	保育士・教師

<p>ここ5年間で様々な面で子育て支援サービスが充足してきていると思いますが、さらに充実させていくことが必要だと思う。また、職場（父親、母親共に）に対して、子育てをみんなで受け入れようという考えを持ってもらえるような働きかけをしてもらい、子供が病気の時など休みやすい環境を作っていくことが大切だと思う。</p>	<p>保育士・教師</p>
<p>「子育て」ということについて、環境の充実は大切だと思うが、親へのサービスや育てやすさばかりを重視すると、子どもの気持ちは置き去りにならないかかが心配です。一番に「子どもの健やかな育ち」を中心にした次世代育成計画が必要であると思います。</p>	<p>保育士・教師</p>
<p>子育てしやすい環境づくりのため、市がいろいろと支援していくことは、必要だと思います。子育てのサービスを行っていることは、もっともっと市民に周知することが必要です。</p>	<p>民生児童委員</p>
<p>ファミリーサポートなどありますが、私の周りに、利用したことがあるという人はいません。近くに実家などがなくなかなか医者にも行けないのが現状ですのもっと利用しやすく、なじみやすくいろいろ説明してたくさんの人に利用してもらえるように考えて欲しいです。</p>	<p>子育てサークル</p>
<p>子どもが安心・安全に生活できるような市だといい。見通しの良い交差点、不審者が潜みにくい明るい路地。子どもと地域全体との交流。</p>	<p>子育てサークル</p>
<p>行き場をなくした子どものいない町です。</p>	<p>女子大生</p>

■子ども自身が望むこと

<p>4歳の息子に聞いてみました。口では説明できないと言って絵を書きました。12色全部使ってカラフルで明るい園を書いていました。明るくて楽しい園がいいのかな？って思いました。</p>	<p>児童を持つ母親</p>
<p>安心で安全に学び、遊んだりできる環境だと思います。</p>	<p>児童を持つ母親</p>
<p>自分を見てもらう事。自分を理解してもらう事。声をかけたりかけられたり、自分の存在を理解してもらう事。</p>	<p>保育士・教師</p>
<p>「～はだめ」「～はよくない」など限定されることが多く、何に対しても消極的になりがちになってきているため、子どもをとりまく環境全体で子どもが安心して楽しくすごせる環境を望んでいると思います。</p>	<p>保育士・教師</p>
<p>子ども達が学校や園に対して望んでいることは、自分の存在を大切に受け入れてもらうことだと思います。欠席した時に、「○○ちゃんがいなくて寂しかったよ」と言ってもらえるような温かい受け入れ先が常にあれば、安心して登校・登園できると思います。子ども達が家族に対して望むことは、両親が仲良くすること、又、祖父母とも仲良くすることだと思います。</p>	<p>保育士・教師</p>
<p>自分を理解してくれる大人がいる場があれば、子ども自身が安心できると思います。</p>	<p>女子大生</p>

自分の意思で安心してかかわれる活動です。	女子大生
笑顔で暮らせ、安心できる環境やいろいろな人とのコミュニケーションがとれる事です。	女子大生
大人の顔色を見ながら行動するのではなく、自由に自分の意思で行動することと思います。	女子大生

■男性の家事や育児について望むことについて

土・日はよく面倒を見てくれますが、子どもと2人きりで、どうやって接していいのかわからない男性が多いと思います。もっと子どもと2人きりのコミュニケーションが取れると母親は助かると思います。	子育てサークル
男は外で働き、女は家で育児、という昭和の考えはもう時代遅れ。それはもう分かっている、実践出来ている男性がどれほどいるのか。	子育てサークル
男性が家事・育児をすることは自然なことだし、全く普通のことと思っています。人として家庭の中で、気がついた時に、できる人ができる事をすればよいと思う。	児童を持つ母親
入浴やおむつ交換など分担して欲しいと思います。	女子大生
夫婦で助けあえることが必要だと思います。	女子大生
休日は子育てに参加して欲しい。一緒に庭いじりするなど子どもと触れ合っ て欲しいと思います。	女子大生

■地域で子育てを支援していくための具体的な活動や意識について

子育てを支援できる人は一般のごく普通の方で十分できる。子育てを経験した人が、初めて子を持つ母となった人達への温かい言葉がけや、相談者となったり、時には、ストレスをかかえている人へのリフレッシュの場を考え、気持ちを理解していけるような意識が必要。そういった場が地域でつくと人間関係も深めやすい。	児童を持つ母親
子どもたちを地域全体で見守り、安心して暮らせるようにしていく事が大切だと思います。働いている保護者も多いので、子どもたちを預かる場を増やし、子どもたちがいきいきと生活出来るよう遊びや遊具を増やしていくと良いと思います。	保育士・教師
自分が子育てをしていた頃、何が一番困っていたかという、学校が終わってから自分が帰るまでの子どもの安全です。又、病気の子どもをあずかってくれるところなど協力してもらえれば、助かる人も多いと思います。	保育士・教師

今は、子どもが小さく、仕事もしていない。この時期だからこそ、子どもと一緒にいて成長を見守りたいと思っている。幼稚園に行きだし、すこし時間に余裕ができたなら、自分が仕事に復帰するまでの間仕事をされているお母さん方の子育てのお手伝いができればと思っている。皆で、自分達の立場に関係なく、助けあえるような地域が理想ですね。	児童を持つ母親
子どもを育てるのは親だけではなく、また、大人は自分の子だけを育てるのではない、という意識を持つことが大切だと思います。子育てサークルなどを通して情報交換をしたり、悩みや楽しみを分かち合う機会に積極的に参加して、子育て家庭の結びつきが濃くなれば、相互扶助も期待できると思います。	子育てサークル
地域の人たちと交流会のようなことを行うべきだと思います。	女子大生
老若男女が集まり、参加できるような企画がたくさんあればいいと思います。	女子大生
子どもが未来の宝だと認識する人が増えていくための活動が必要だと思います。	女子大生
子育てを实际行う母親などの悩みや相談をしっかりと聞いてあげて、対応することが大切だと思います。	女子大生
園庭開放は、子育て中の親同士が知り合う機会として、とても良い取り組みだと思う。地域の老人の方の力をもっと活用すれば、子育て支援の即戦力になると思う。	保育士・教師
幼稚園教諭で長年勤務した経験から、子どものすばらしさ、かわいさ、成長の喜び、または、困ったこと、失敗したこと、それをどのように乗り越えてきたかなど伝える場、子育て中の母親と共にディスカッションできる場があると、お互い安心し勉強するよい機会になると思います。	保育士・教師
子どもの面白さ、可愛さ、大切さなど、保育を通してみられる子どもの魅力を教師の視点から地域や市に伝え、「子どもを育てたい」という気持ちをたくさんの人に持ってもらえる活動が必要。	保育士・教師

■母親になった時にして欲しい子育て支援策について

地域の人たちが、すべてのこどもを育てているという感覚になるような働きかけをして欲しいと思います。	女子大生
他の母親とのかかわりや遊び場を増やして欲しいと思います。	女子大生
小児医療の充実や、母親初心者が気楽に駆け込める相談所が欲しいと思います。	女子大生
地域の人たちとかかわれる場をもっと多く設けて欲しいと思います。	女子大生

■その他、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

<p>次世代育成支援前期計画には、大人から見た子育ての問題がほとんどである。今後、子どもから見た問題や悩みも同時にアンケートできるとよいのではないか。(例えば、学校での生活の様子、家庭での過ごし方、親子関係や友達関係、・悩みなど)今、子どもたちが抱えている問題は何か?という視点も大切だと思う。</p>	<p>児童を持つ母親</p>
<p>学童保育と学校がもう少し、連携して子どもを見てほしい。2才児未満の子どもの預かりを増やしてほしい。医療費補助を中学3年生までにしてほしい。</p>	<p>子育てサークル</p>
<p>地域ぐるみで子どもを育てていく必要性を感じるが、どうしても、世代別で分かれてしまうので、地域、市で、子ども、若夫婦、中年夫婦、老夫婦などの世代がうまくふれあえ、かかわりが持てるような方法があると良いと思います。</p>	<p>保育士・教師</p>
<p>子育ては大変だけど、楽しいものであるということを若い人たちに知らせていくことが大事だと考えます。</p>	<p>保育士・教師</p>

3 江南市の現状

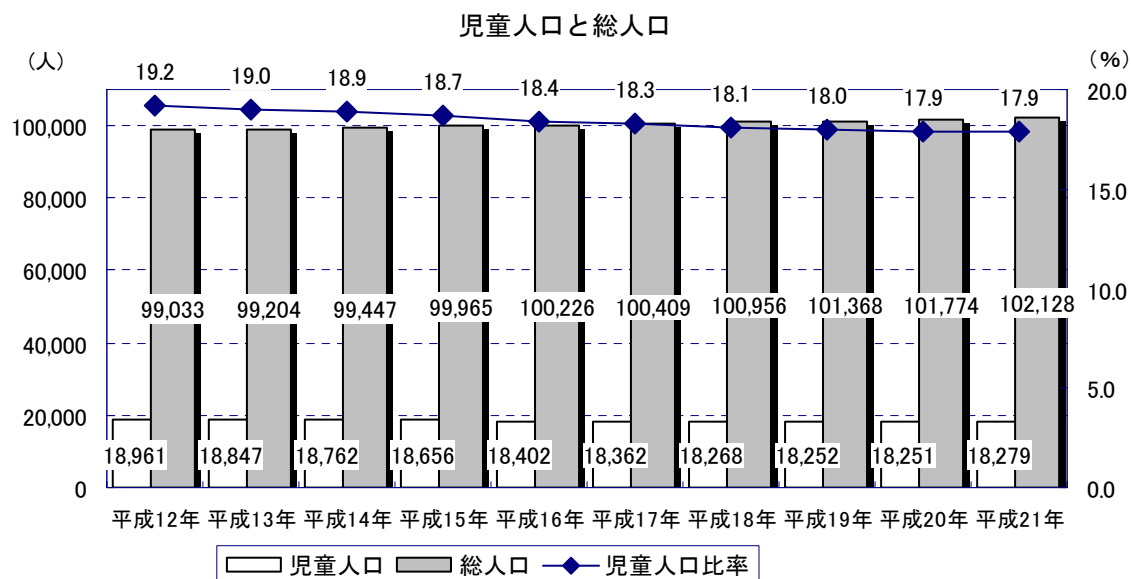
地域性、利用者のニーズ及びサービス供給基盤に関する特性を把握するとともに、近隣市町との比較などを通じ、客観的・相対的に子どもたちを取り巻く社会環境の状況及び変化を把握します。

(1) 人口の状況

1 人口の推移

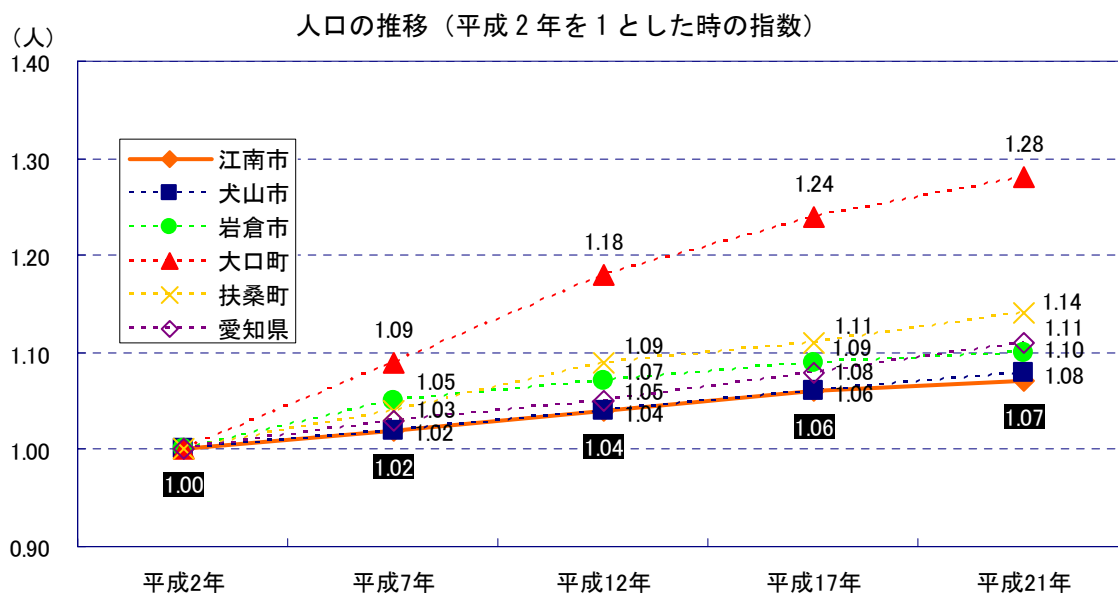
1. 人口

江南市の住民基本台帳による総人口は、平成12年の99,033人から、平成21年で102,128人と年々増加しています。しかし、それに反して、児童人口（18歳未満児人口）では、平成12年の18,961人から平成21年18,279人と、減少しています。



※各年4月1日現在
資料：『住民基本台帳』

平成2年を1とした時の人口の伸びを示す江南市の指数は1.07となっています。また、江南市の人口は平成2年の国勢調査の93,837人から平成21年の4月1日の愛知県人口動向調査では、100,453人となっています。



単位：人

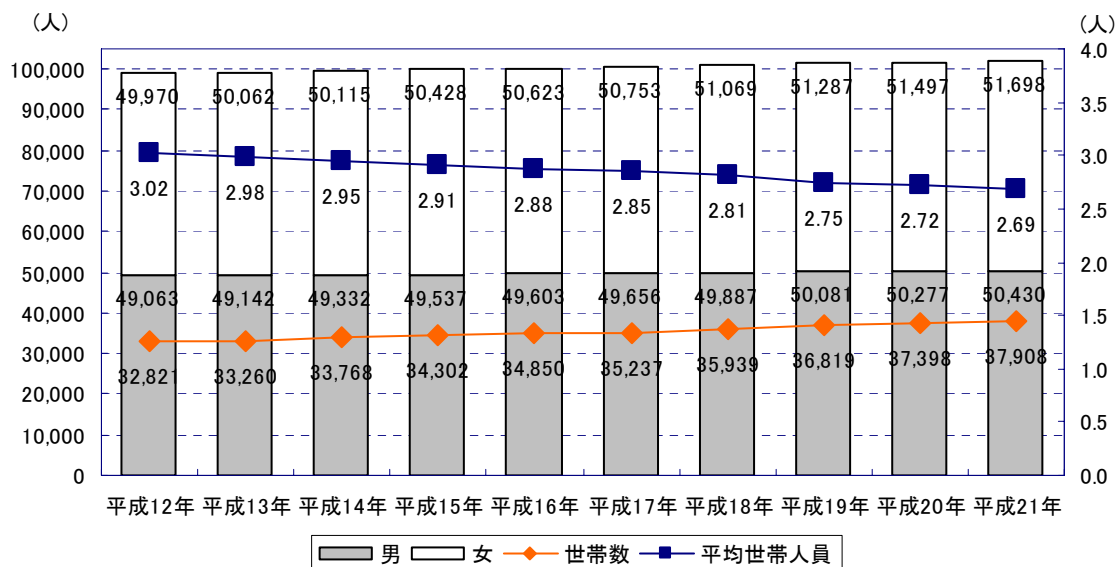
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年
江南市	93,837	95,521	97,923	99,055	100,453
犬山市	69,801	71,342	72,583	74,294	75,503
岩倉市	43,807	46,175	46,906	47,926	48,330
大口町	17,464	19,031	20,633	21,602	22,398
扶桑町	29,210	30,254	31,728	32,535	33,294
愛知県	6,690,603	6,868,336	7,043,300	7,254,704	7,398,968

※各年10月1日現在（平成21年のみ4月1日現在）
資料：『国勢調査』、『愛知県人口動向調査月報』（平成21年）

2. 世帯数

総人口および世帯数の増加の一方で、核家族化が一層進み、1世帯あたりの平均人員では、平成12年の3.02人から平成21年では2.69人へと減少し、核家族化が一層進展しています。

江南市の人口・世帯数・1世帯あたりの平均人員の推移

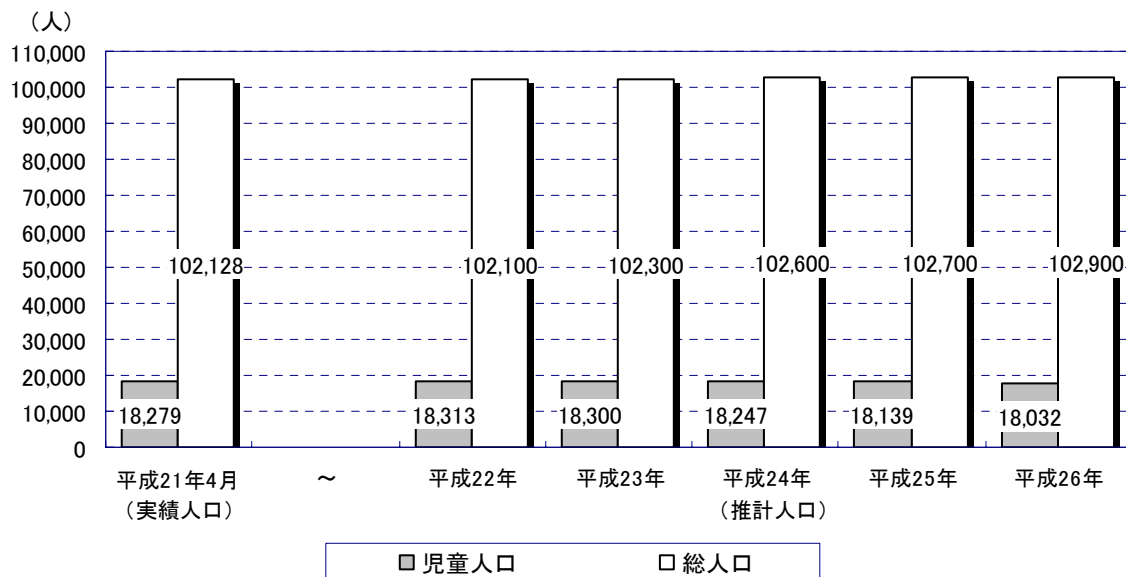


年次	世帯数 (世帯)	人口総数 (人)	男 (人)	女 (人)	1世帯あたりの 平均人員 (人)
平成12年	32,821	99,033	49,063	49,970	3.02
平成13年	33,260	99,204	49,142	50,062	2.98
平成14年	33,768	99,447	49,332	50,115	2.95
平成15年	34,302	99,965	49,537	50,428	2.91
平成16年	34,850	100,226	49,603	50,623	2.88
平成17年	35,237	100,409	49,656	50,753	2.85
平成18年	35,939	100,956	49,887	51,069	2.81
平成19年	36,819	101,368	50,081	51,287	2.75
平成20年	37,398	101,774	50,277	51,497	2.72
平成21年	37,908	102,128	50,430	51,698	2.69

※各年4月1日現在
資料：『市民サービス課』

3. 推計人口

江南市戦略計画策定時の推計人口により、平成26年の総人口は102,900人、推計児童人口は18,032人と推計され、平成21年4月の児童人口である18,279人から247人の減少が見込まれます。

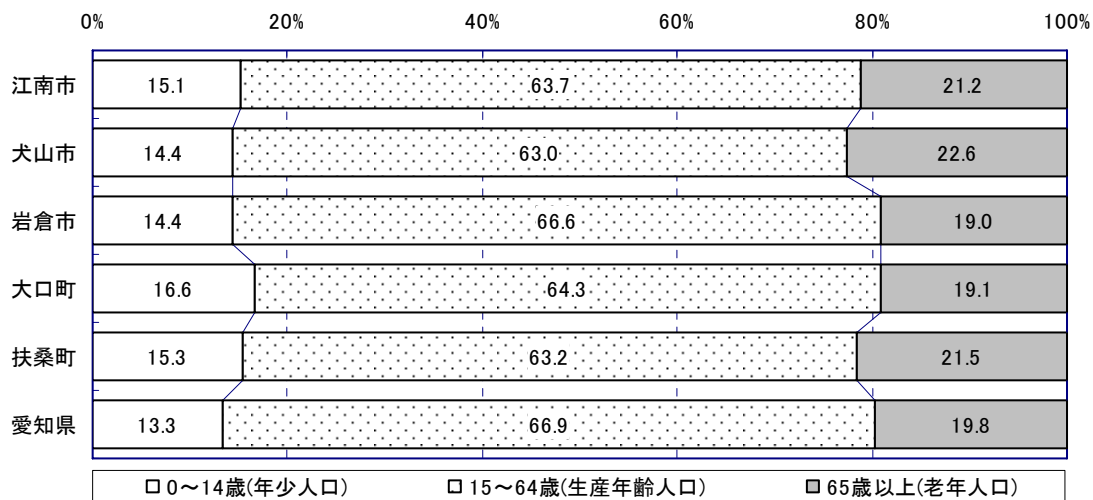


※児童人口は18歳未満児。

4. 人口割合

平成19年10月1日現在の近隣市町の年齢3区分構成比をみると、生産年齢人口割合では、岩倉市が66.6%と最も高く、次いで、大口町が64.3%、江南市が63.7%などとなっています。また、老年人口割合は、岩倉市が19.0%と最も低く、次いで、大口町が19.1%、江南市が21.2%で、他市町と比較して低い割合となっており、働き手である中堅世代の多いことがうかがえます。

近隣市町別年齢3区分別人口構成比の比較(平成19年)

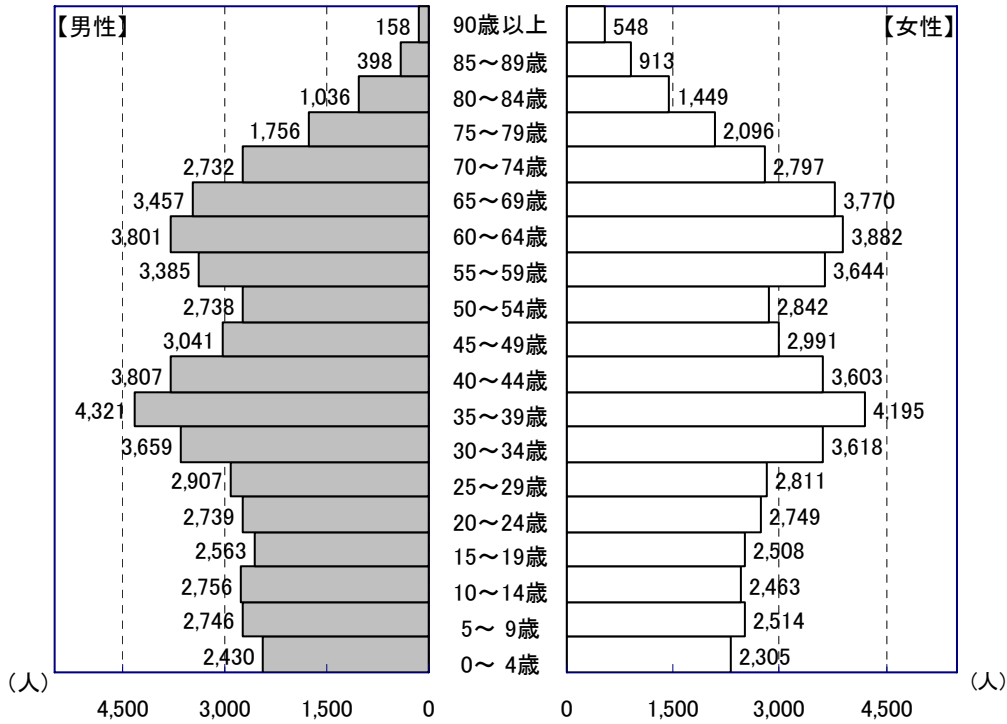


※4月1日現在
資料：『愛知県人口動向調査』

5. 人口構成

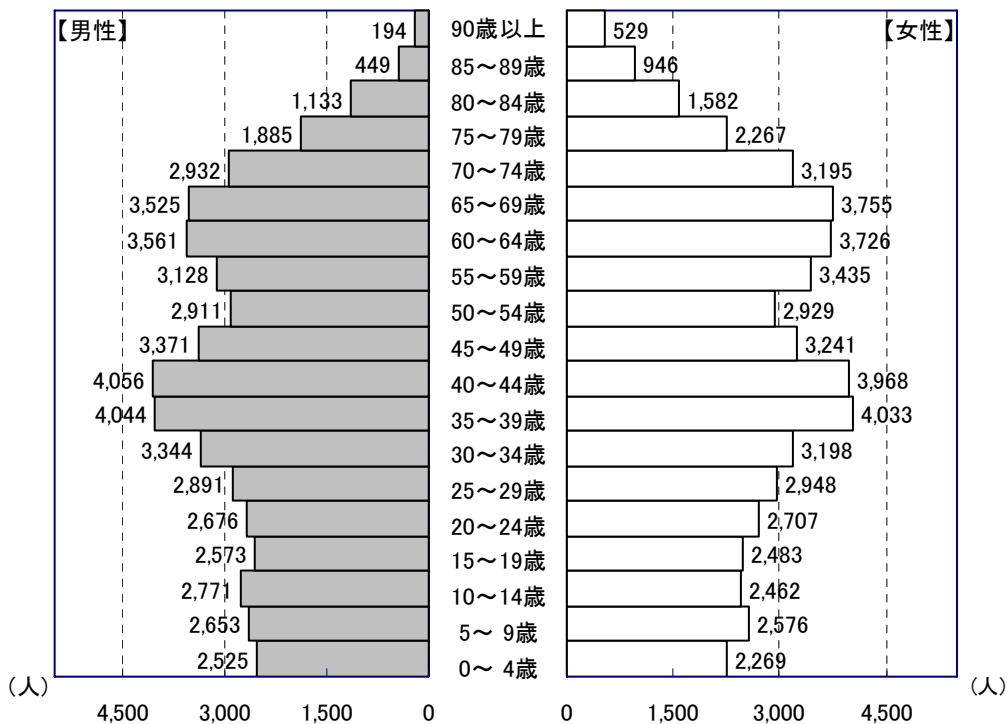
人口ピラミッドで現在（平成 21 年）の人口と、将来（平成 26 年）の人口を見てみると、年齢構成は同じように推移しています。

現在（平成 21 年）の人口ピラミッド



※4月1日現在
資料：『市民サービス課』

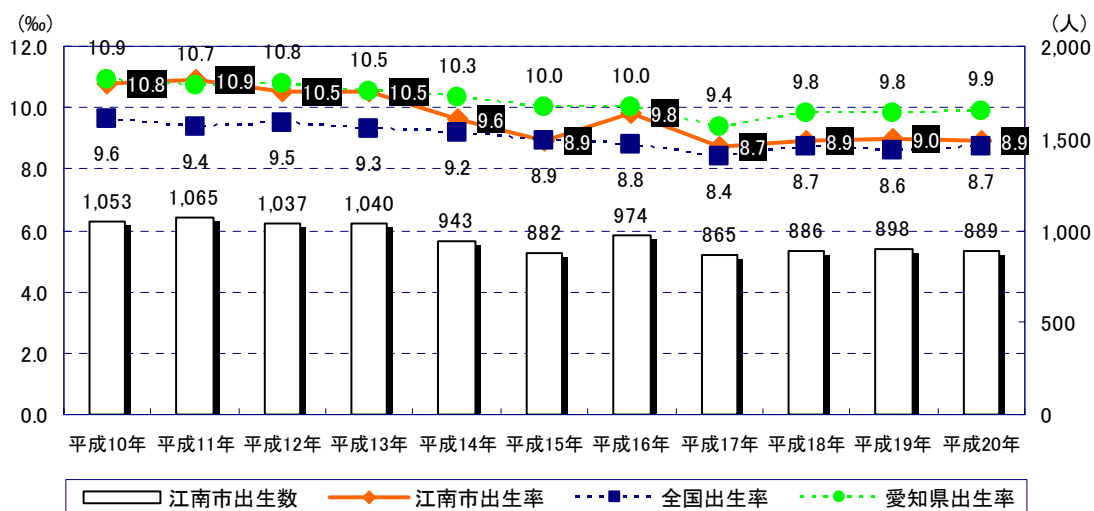
将来（平成 26 年）の人口ピラミッド



2 出生の動向

江南市の出生数は、平成10年で1,053人でしたが、その後減少し、平成20年には889人となっています。出生率（人口千人あたり）をみると、平成10年の10.8から平成20年には8.9と減少し、また、期間合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子どもの数）も同様に、平成10年の1.41から平成20年には1.37に減少し、少子化の傾向がみてとれます。

出生数および出生率の推移



江南市の出生数の推移

単位：人

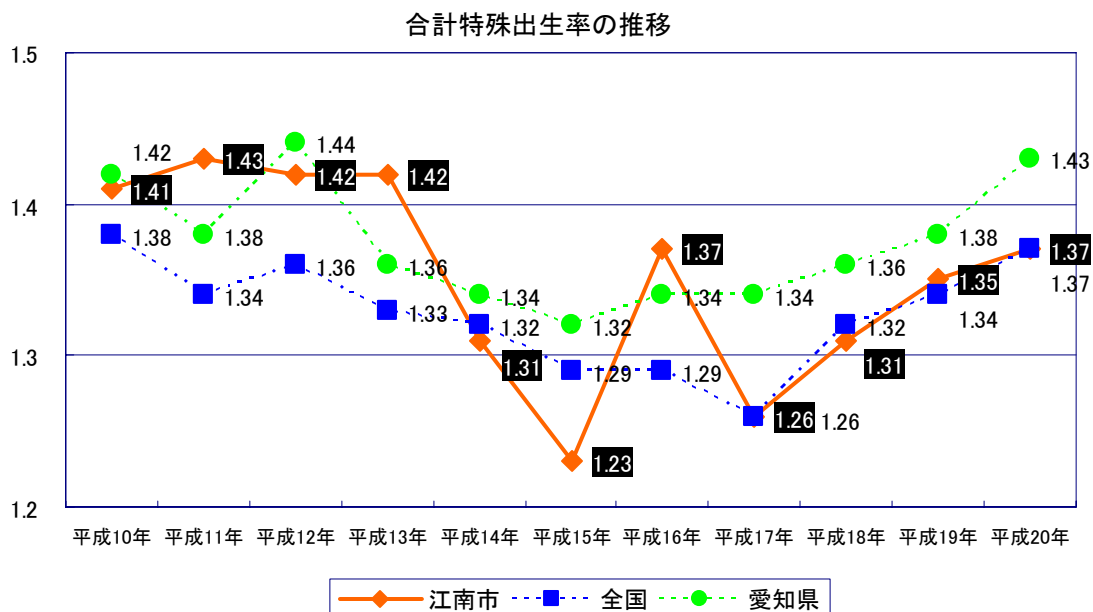
江南市	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
出生数	1,053	1,065	1,037	1,040	943	882	974	865	886	898	889

出生率の推移（全国・県との比較）

単位：‰

出生率	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
江南市	10.8	10.9	10.5	10.5	9.6	8.9	9.8	8.7	8.9	9.0	8.9
全国	9.6	9.4	9.5	9.3	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6	8.7
愛知県	10.9	10.7	10.8	10.5	10.3	10.0	10.0	9.4	9.8	9.8	9.9

※各年10月1日現在
資料：『愛知県衛生年報』



合計特殊出生率の推移 (全国・県との比較)

合計特殊出生率	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
江南市	1.41	1.43	1.42	1.42	1.31	1.23	1.37	1.26	1.31	1.35	1.37
全国	1.38	1.34	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37
愛知県	1.42	1.38	1.44	1.36	1.34	1.32	1.34	1.34	1.36	1.38	1.43

※合計特殊出生率

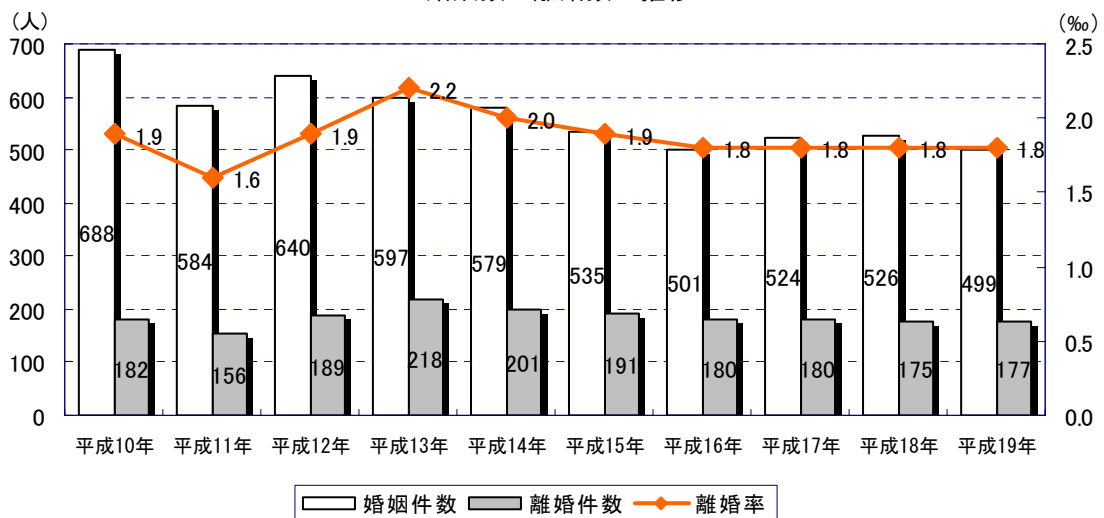
ある期間(1年間)の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢(15~49歳)の女性の出生率を合計したもので、どの年齢の女子の人数も同じとして算定される出生率なので、女子人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」をいい、同一年生まれ(コーホート)の女性の各年齢(15~49歳)の出生率を過去から積み上げた「その世代の出生率」であるコーホート合計特殊出生率に対し、「期間合計特殊出生率」をさしています。

3 婚姻・離婚の動向

江南市の婚姻数は、平成10年では688件でしたが、平成19年では、499件と減少しています。また、離婚数は、平成10年の182件から減少傾向にあり、平成19年では、177件となっています。

また、初婚者数（江南保健所（犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町の合計））は、平成15年では夫1,215人、妻1,246人でしたが、平成19年では夫1,174人、妻1,177人となっており、減少しています。一方、平均初婚年齢をみますと、平成15年では夫28.9歳、妻27.3歳でしたが、平成19年では夫30.4歳、妻28.2歳となっており、年齢が上がっています。

婚姻数・離婚数の推移



※各年10月1日現在
資料：『愛知県衛生年報』

初婚者数及び平均初婚年齢の推移

	初婚者数 (人)		平均初婚年齢 (歳)	
	夫	妻	夫	妻
平成15年	1,215	1,246	28.9	27.3
平成16年	1,218	1,242	29.4	27.6
平成17年	1,188	1,203	29.9	27.8
平成18年	1,221	1,271	29.8	28.0
平成19年	1,174	1,177	30.4	28.2

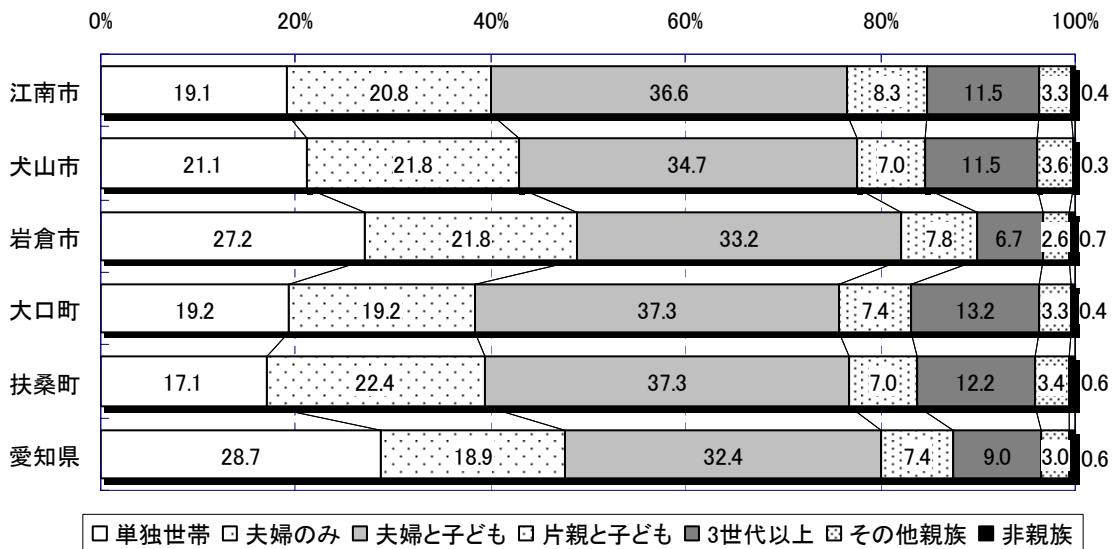
※江南保健所の総数（犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町の合計）
※各年10月1日現在
資料：『愛知県衛生年報』

(2) 家族や地域の状況

1 世帯の状況

江南市の世帯構成をみますと、「夫婦と子ども」の割合が最も高く36.6%となっています。次いで「夫婦のみ」が20.8%、「単独世帯」が19.1%、「3世代以上」は11.5%などとなっています。

近隣市町との世帯構成の比較(平成17年)



単位：世帯

	世帯総数	単独世帯	親族世帯					非親族世帯
			核家族世帯			その他の親族世帯		
			夫婦のみ	夫婦と子ども	片親と子ども	3世代以上	その他親族	
江南市	34,093	6,523	7,107	12,451	2,827	3,914	1,129	142
犬山市	25,888	5,467	5,652	8,951	1,822	2,990	935	71
岩倉市	18,724	5,090	4,076	6,200	1,469	1,259	496	134
大口町	7,144	1,375	1,375	2,655	531	941	236	31
扶桑町	11,107	1,904	2,486	4,133	783	1,354	380	67
愛知県	2,724,476	783,157	514,995	884,271	201,562	244,068	81,404	15,019

※この表における子どもとは、続柄のことをさす。

※10月1日現在

資料：『国勢調査』

2 子どものいる世帯

江南市の18歳未満の子どものいる一般世帯数は、平成2年の12,761世帯から平成17年には10,469世帯となっています。近隣市町と比較しますと、子どものいる世帯(18歳未満児童のいる世帯)の比率は、大口町で34.2%と最も高く、次いで、江南市が30.7%、扶桑町が30.0%などとなっています。

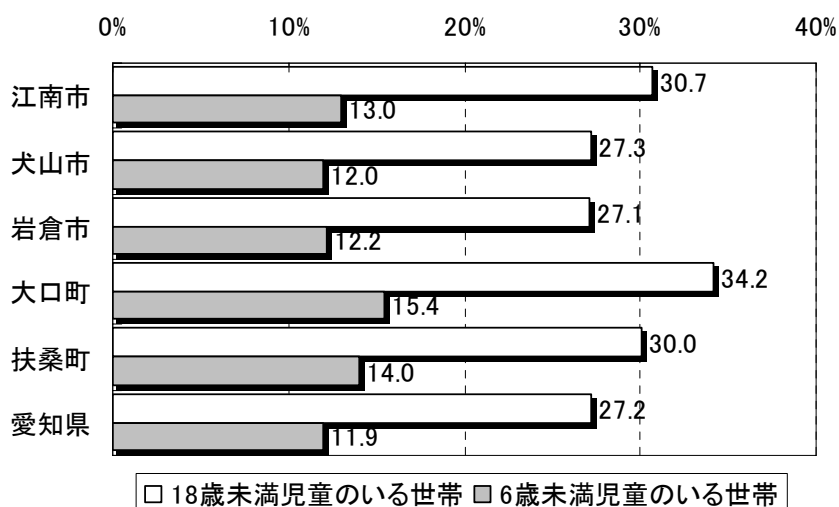
子どものいる世帯数の推移

単位：世帯

	一般世帯総数	18歳未満児童の いる世帯数	6歳未満児童の いる世帯数
平成2年	27,962	12,761	4,564
平成7年	29,842	11,056	4,401
平成12年	32,196	10,692	4,673
平成17年	34,093	10,469	4,437

※10月1日現在
資料：『国勢調査』

近隣市町村との子どものいる世帯率の比較(平成17年)



単位：世帯

	一般世帯総数	18歳未満児童の いる世帯数	6歳未満児童の いる世帯数
江南市	34,093	10,469	4,437
犬山市	25,888	7,058	3,099
岩倉市	18,724	5,069	2,288
大口町	7,144	2,440	1,102
扶桑町	11,107	3,336	1,557
愛知県	2,724,476	741,055	325,036

※10月1日現在
資料：『国勢調査』

3 就業状況

1. 就業状況

近隣市町ごとの全体の就業率をみますと、岩倉市が65.0%と最も高く、次いで大口町が63.9%、扶桑町が61.8%などとなっています。

男性の就業率では、大口町が77.2%と最も高く、次いで岩倉市が77.1%、扶桑町が75.3%などとなっています。また、女性の就業率では、岩倉市が53.0%と近隣市町のなかで最も高くなっています。

15歳以上の労働力状態(就業率)の比較(平成17年)

単位：%

	全体	男性	女性
江南市	61.5	74.1	49.6
犬山市	61.4	74.1	48.8
岩倉市	65.0	77.1	53.0
大口町	63.9	77.2	50.7
扶桑町	61.8	75.3	48.6
愛知県	63.2	75.6	50.8

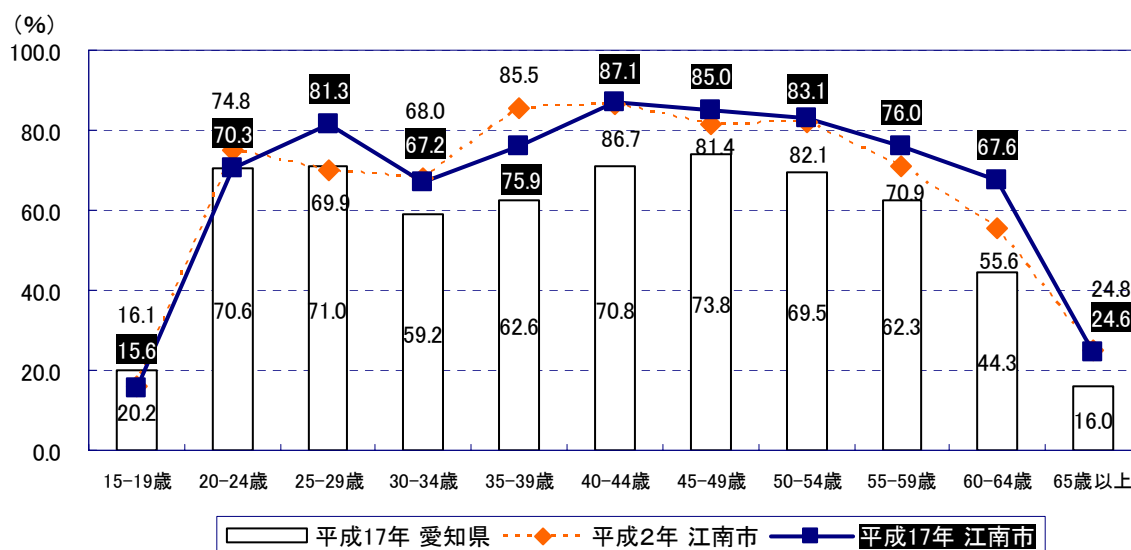
※10月1日現在
資料：『国勢調査』

2. 20歳～30歳代女性の就業率

江南市の女性の就業率を年齢別にみますと、平成17年では、25歳～29歳の81.3%と40歳～44歳の87.1%と2つのピークがあり、結婚・出産期などと思われる30歳～34歳は67.2%と落ち込んでいます。

このM字カーブを平成2年からの推移で見ますと、25歳～34歳の就業率は上がっているものの、その後の推移に変化は見られません。

女性の就業率の推移（県との比較）



女性の就業率の推移（県との比較）

単位：%

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
江南市 (平成2年)	16.1	74.8	69.9	68.0	85.5	86.7	81.4	82.1	70.9	55.6	24.8
江南市 (平成7年)	18.6	82.4	59.2	72.8	77.4	86.2	83.9	77.9	79.2	68.2	28.2
江南市 (平成12年)	11.8	72.7	75.4	63.2	77.1	85.0	91.2	78.7	77.9	68.3	27.8
江南市 (平成17年)	15.6	70.3	81.3	67.2	75.9	87.1	85.0	83.1	76.0	67.6	24.6
愛知県 (平成17年)	20.2	70.6	71.0	59.2	62.6	70.8	73.8	69.5	62.3	44.3	16.0

※各年10月1日現在
資料：『国勢調査』

1 医療機関の状況

平成 17 年の江南市における一般病院（病床数 20 以上の医療施設）は 3 施設、一般診療所（病床数 19 以下の医療施設）は 67 施設、歯科診療所は 51 施設となっています。

また、平成 16 年の本市における医師数、歯科医師数及び薬剤師数は、近隣市町と比較し多くなっています。

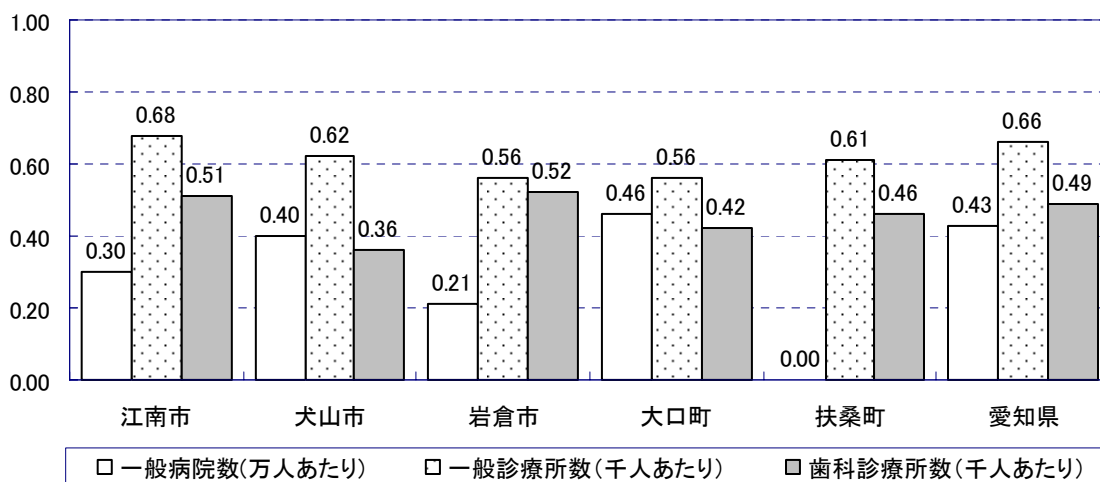
一方、人口あたりの診療所数、歯科診療所数でみると、ほぼ愛知県と同程度となっています。

人口あたり医療機関などの数

	平成17年 一般病院数 (施設)	平成17年 一般診療所数 (施設)	平成17年 歯科診療所数 (施設)	平成16年 医師数 (人)	平成16年 歯科医師数 (人)	平成16年 薬剤師数 (人)
江南市	3	67	51	168	67	168
犬山市	3	46	27	94	38	83
岩倉市	1	27	25	36	35	51
大口町	1	12	9	27	15	25
扶桑町	0	20	15	20	19	42
愛知県	313	4,785	3,536	13,295	4,961	11,465

※10月1日現在
資料：『国勢調査』

人口あたりの施設数（平成 17 年）



※10月1日現在
資料：『統計でみる市区町村のすがた 2009』

2 要保護児童の状況

江南市の児童虐待の状況は、平成20年度で19件となっています。

児童虐待の件数（平成20年度）

単位：件

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	合計
江南市	7	12	0	0	19
一宮児童相談センター	30	27	1	6	64
愛知県	398	270	34	103	805

※一宮児童相談センターの管轄は、一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町、の5市2町。
資料：『子育て支援課』

(4) 子育ての状況

1 市内の保育園、幼稚園

保育園は、児童福祉法第39条第1項の規定に基づき、保護者の労働、疾病その他の理由により、家庭において、乳幼児の保育が困難な場合に、保護者の委託を受けて保育することを目的として設置された児童福祉施設で、市立保育園が18園あり、1・2歳児の入園が増加傾向にあります。

保育園の定員と園児数の推移

単位：人

	定員	保育士数	園児数					総数	学齢前 児童数
			0歳児	1歳児 2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
平成17年度	2,200	200	34	274	508	564	550	1,930	6,111
平成18年度	2,200	196	12	289	472	546	571	1,890	6,035
平成19年度	2,200	197	20	286	454	503	548	1,811	5,891
平成20年度	2,200	203	24	349	470	470	523	1,836	5,789
平成21年度	2,200	210	24	383	427	486	473	1,793	5,734

※各年4月1日現在
資料：『子育て支援課』

幼稚園の定員と園児数の推移

単位：人

	定員	教職員数	園数	学級数	園児数			
					総数	3歳児	4歳児	5歳児
平成17年度	1,390	68	5	41	992	315	348	329
平成18年度	1,390	74	5	42	988	321	322	345
平成19年度	1,390	77	5	41	952	313	320	319
平成20年度	1,390	83	5	42	954	322	317	315
平成21年度	1,390	82	5	42	952	295	335	322

※各年5月1日現在
資料：『教育課』

保育園の定員と園児数（平成 21 年度）

単位：人

	定員	園児数						
		総数	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
草井保育園	120	80	4	3	9	19	17	28
小鹿保育園	90	69	-	5	6	20	19	19
宮田東保育園	110	73	2	7	10	23	16	15
宮田保育園	80	64	-	6	12	14	19	13
宮田南保育園	140	115	-	13	14	18	33	37
藤里保育園	140	101	-	11	12	26	27	25
古知野北保育園	120	109	-	6	12	29	36	26
古知野東保育園	150	122	-	9	13	36	33	31
あずま保育園	130	113	-	5	16	24	33	35
古知野中保育園	100	85	9	9	15	15	19	18
門弟山保育園	140	124	-	10	20	31	31	32
中央保育園	110	93	8	10	22	17	13	23
古知野南保育園	110	93	-	9	12	19	30	23
古知野西保育園	150	118	-	6	12	35	34	31
布袋北保育園	145	137	0	9	15	33	36	44
布袋西保育園	145	109	-	11	15	19	37	27
布袋保育園	100	83	1	12	9	22	20	19
布袋東保育園	120	105	-	5	13	27	33	27
合計	2,200	1,793	24	146	237	427	486	473

※4月1日現在
資料：『子育て支援課』

幼稚園の定員と園児数（平成 21 年度）

単位：人

	定員	園児数			
		総数	3 歳児	4 歳児	5 歳児
江南幼稚園	465	320	103	115	102
すみれ幼稚園	310	98	28	26	44
一宮女子短期大学付属藤ヶ丘幼稚園	105	116	39	38	39
江南第二幼稚園	200	124	32	45	47
愛知江南短期大学付属幼稚園	310	294	93	111	90
合計	1,390	952	295	335	322

※各年5月1日現在
資料：『教育課』

2 障害児の状況

江南市では、就学前の心身に発達遅れや障害のある子どもは母子通園施設「わかくさ園」や保育園の障害児保育において生活習慣の自立を促す基礎づくりをしています。障害児数推移は増加傾向となっています。

心身障害児（18歳未満）数の推移

単位：人

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
知的障害	108	112	122	154	145	160
身体障害	62	64	67	67	67	70
合計	170	176	189	221	212	230

※各年度末

資料：『福祉課・子育て支援課』

保育園・わかくさ園の障害児数の推移

単位：人

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
保育園	37	36	45	56	61	60
わかくさ園	19	16	20	19	18	23
合計	56	52	65	75	79	83

※各年度末

資料：『子育て支援課』

(5) 地域子育て支援サービス

1 ファミリー・サポート・センター

育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人が会員登録し、相互援助活動を行います。江南市では、平成20年度で会員登録者数は414人、依頼件数は606件となっています。

取り組み内容をみますと、「保育施設の迎え及び帰宅後の預かり」が267件（44.0%）と最も多く、次いで「学童保育の迎え及び帰宅後の預かり」が120件（19.8%）、「保育施設の登園前の預かり及び送り」が93件（15.3%）などとなっています。

ファミリーサポートの取り組み内容（平成20年度累計）

取り組み内容	活動件数 (件)	構成比 (%)
保育施設の登園前の預かり及び送り	93	15.3
保育施設の迎え及び帰宅後の預かり	267	44.0
学童の放課後の預かり	2	0.3
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	120	19.8
子どもの病気時の援助	6	1.0
子どもの習い事等の援助	39	6.4
保育園・学校等休み時の援助	1	0.2
保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助	16	2.6
保護者等の冠婚葬祭、他の子どもの付添の援助	1	0.2
保護者等の外出の場合の援助	30	5.0
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	4	0.7
学童保育所の登所前の預かり及び送り	26	4.3
その他	1	0.2
合計活動件数	606	100.0

資料：『子育て支援課』

2 学童保育(放課後児童健全育成)

両親が共働きなどで放課後に保護者がいない家庭の小学校低学年児童の放課後の安全確保と健全育成を実施し、適切な指導および保護を行っています。平成20年3月現在で申込人数670人(定員456人)となっています。市内10ヶ所の学童保育所で、放課後児童の健全育成に努めています。

学童保育施設一覧(平成20年度)

施設名	所在地
交通児童遊園(平成20年6月まで)	江南市木賀町大門19番地
古知野児童館	江南市古知野町小金87番地
藤ヶ丘児童館	江南市藤ヶ丘6丁目1番地の1
宮田児童館	江南市後飛保町両家124番地
草井地区学習等供用施設	江南市小杵町八幡295番地
古知野北部地区学習等供用施設	江南市和田町天神65番地
古知野西学童保育所	江南市東野町郷前11番地
古知野南学童保育所	江南市古知野町大塔72番地
門弟山学童保育所	江南市村久野町門弟山272番地
布袋北学童保育所	江南市今市場町秋津220番地
布袋学童保育所(平成20年7月から)	江南市布袋下山町南167番地

学童保育所の利用状況

	平成19年度		平成20年度	
	開館日数 (日)	出席人数 (人)	開館日数 (日)	出席人数 (人)
藤ヶ丘児童館	293	8,571	293	8,249
宮田児童館		12,901		12,763
交通児童遊園		8,279		2,446
古知野児童館		12,607		10,771
草井地区学習等供用施設		7,330		8,034
古知野北部地区学習等供用施設		5,506		5,961
古知野西学童保育所(分室含む)		14,673		13,447
古知野南学童保育所		10,566		10,939
門弟山学童保育所		9,336		9,561
布袋北学童保育所		8,877		8,136
布袋学童保育所		—		8,145

※出席人数は延数。
資料：『子育て支援課』

(6) その他のサービス

1 児童館の利用状況

江南市には、児童館、交通児童遊園、学習等供用施設が設置され、子どもたちの健全な遊び場となっています。

児童館の利用状況

単位：人

	利用者数				
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
幼児	16,155	15,220	20,751	19,881	18,692
小学生	31,677	26,092	26,443	26,368	23,163
中学生	6,080	3,466	2,686	3,467	3,785
その他	15,760	15,886	20,741	20,031	18,690
合計	69,672	60,664	70,621	69,747	64,330
1館1日平均利用者数	32.9	28.4	25.3	21.6	20.5

※開館時間 9:00～17:00

資料：『子育て支援課』

親と子の遊びの広場の利用状況

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
古知野児童館	(回)	41	47	45	47	33
	(人)	1,470	1,825	1,864	1,587	1,109
交通児童遊園	(回)	40	46	46	51	35
	(人)	1,543	1,608	1,958	1,619	1,052
藤ヶ丘児童館	(回)	41	38	45	50	34
	(人)	1,029	756	1,146	1,070	1,082
宮田児童館	(回)	46	49	40	50	35
	(人)	1,374	1,669	1,350	1,488	1,111
草井地区学習等供用施設	(回)	32	41	30	17	17
	(人)	844	1,037	653	549	362
古知野北部地区学習等供用施設	(回)	41	19	34	29	32
	(人)	1,004	314	512	648	782
合計	(回)	241	240	240	244	186
	(人)	7,264	7,209	7,483	6,961	5,498

資料：『子育て支援課』

2 公園・児童遊園・遊園地

平成21年4月現在で、江南市内には計22か所の公園があります。面積では蘇南公園が最も広く、約112,496㎡となっています。

他にも、児童遊園、遊園地などが27か所あり、その種類は多岐にわたっています。

市内の公園（平成21年現在）

公園名などの名称	場所	面積(m ²)
フラワーパーク江南	江南市小杣町一色	91,000.00
木賀公園	江南市木賀町大門26	1,500.00
中央公園	江南市北野町川石1-1	33,053.00
蘇南公園	江南市宮田町本田島322	112,496.00
布袋児童公園	江南市布袋町東322	1,330.00
なつめ公園	江南市木賀本郷町緑11	1,788.24
島宮公園	江南市島宮町城11	3,000.00
飛高栄公園	江南市飛高町栄266	990.00
五明公園	江南市五明町高砂200	4,028.30
高屋後山公園	江南市高屋町後山29-2	980.00
高屋西里公園	江南市高屋町西里83	1,395.00
高屋西町公園	江南市高屋町西町77	1,453.00
しみず公園	江南市前野町西1-1	3,173.90
東野岩見公園	江南市東野町岩見1-68	2,424.00
江南緑地公園（中般若）	江南市中般若町川端284	16,903.82
江南緑地公園（草井）	江南市草井町中270	74,361.00
（仮称）大間児童公園	江南市赤童子町大間70	5,468.51
古知野本町小公園	江南市古知野町本郷179	568.10
昭和通小公園	江南市古知野町広見135	139.00
曾本小公園	江南市曾本町幼川添186-2	177.30
曼陀羅寺公園	江南市前飛保町寺町202	12,813.59
久昌寺公園	江南市田代町郷中51	1,551.74
交通児童遊園	江南市木賀町大門19	8,925.23
古知野児童遊園	江南市北野町天神7-1	984.82
草井児童遊園	江南市草井町宮西229	3,526.04
布袋児童遊園	江南市五明町青木175	3,406.36
二子山児童遊園	江南市曾本町二子136-1	4,853.04
古知野中児童遊園	江南市古知野町本郷40	1,421.45
地藏山児童遊園	江南市布袋町北162	829.14
北山児童遊園	江南市北山町東63	429.00

公園名などの名称	場所	面積(m ²)
小鹿児童遊園	江南市小杵町八幡 337	836.93
白山児童遊園	江南市尾崎町白山 35	297.00
山尻遊園地	江南市江森町上 134	740.24
高屋遊園地	江南市高屋町西里 104	109.60
森田遊園地	江南市東野町河原 61	464.99
五明遊園地	江南市五明町当光地 385	1,627.00
安良遊園地	江南市安良町八王子 59	170.45
松竹遊園地	江南市松竹町向島 141	237.00
草井中遊園地	江南市草井町西宮 229	1,199.94
東野遊園地	江南市東野町七社宮 45	267.47
大海道遊園地	江南市大海道町青木 55	290.00
小郷遊園地	江南市小郷町栗田木 210-1	1,056.00
鹿子島遊園地	江南市鹿子島町中 99	551.00
五明西遊園地	江南市五明町天王 103	308.00
昭和通遊園地	江南市古知野町杉山 99	329.00
慈光堂遊園地	江南市江南市慈光堂町 199	395.00
小折白山遊園地	江南市小折本町白山 146-55	364.00
本熊遊園地	江南市村久野町河戸 20	764.91
千丸遊園地	江南市古知野町千丸 5	357.03

※4月1日現在
資料：『まちづくり課』

3 健康診査等の実施状況

妊婦健康診査は、平成19年度よりこれまでの2回から8回増やし10回実施に変更したことにより、受診者が増えました。

乳幼児健康診査の受診状況

単位：人

		平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
妊婦健康診査受診者数		1,822	1,728	1,613	1,747	7,956	8,046
乳幼児健康診査	乳児健康診査	1,541	1,685	1,517	1,591	1,607	1,444
	4か月児健康診査	875	943	843	894	906	894
	1歳6か月児健康診査	953	866	950	897	871	906
	3歳児健康診査	996	961	894	909	935	868

資料：『健康づくり課』

4 母子寡婦福祉資金の実施状況

母子及び寡婦福祉法に基づき、母子及び寡婦の相談に応じることで、自立に必要な助言や指導を行っています。

母子相談の相談内容

単位：件

		平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
母子寡婦福祉資金	修学	173	187	186	172	145	114
	就学支度	7	4	16	13	3	1
	事業開始	4	1	1	1	1	1
	事業継続	2	0	0	0	1	0
	住宅	3	0	0	0	0	0
	技能取得	5	4	4	2	6	1
	療養	0	0	0	0	1	0
	転宅	18	23	22	9	3	8
	生活	6	10	0	4	21	18
	修業	3	3	16	0	9	11
	児童扶養	1	0	0	0	0	0
	就職支度	0	1	0	0	0	0
	結婚	0	0	0	0	0	0
	合計	222	233	245	201	190	154
結婚・離婚		44	27	14	22	14	19
生活		75	50	26	53	41	43
サラ金		11	9	2	0	1	0
家庭紛争		22	13	7	9	9	8
就職・内職		50	70	66	100	71	96
相談		10	4	1	4	0	2
世帯更生資金		2	3	0	0	0	1
合計		436	409	361	389	326	323

資料：『子育て支援課』

4 特定12事業の目標事業値

第3章「基本計画【個別施策の展開】」の中で、平成20年度の現状値を基に平成26年度の目標値を設定しました。その内、保育園での保育サービスや子育て支援事業に関する12事業（下記一覧表）については、市が実施する子育て支援施策の基盤となるため、計画策定にかかるアンケート調査から推計ニーズ量を把握するとともに、今後の人口推計、社会基盤整備状況などを勘案し、平成26年度の目標事業量を設定したものです。

事業名	事業内容	第3章 掲載ページ
通常保育	保護者が日中就労などのために保育できない児童を保育園で保育します。	21
延長保育	保育園において、通常保育の前後に時間を延長して保育を行います。	22
一時保育	普段家庭において児童を保育している保護者の病気時の対応や育児疲れ解消などを目的に、一時的に保育園で児童を保育します。	22
特定保育	保護者のパート就労などにより家庭での保育が困難な児童に対して、週2～3日程度、または午前か午後のみ保育を行います。	22
休日保育	日曜日・祝日に、保護者が就労などのために日中保育できない児童を保育園で保育します。	22
病児・病後児保育	病気・病気回復期にある児童を医療機関、保育園などで保育します。	23
学童保育 (放課後児童健全育成)	保護者が日中就労などのために家庭にいない小学生（主に低学年）に対し、授業の終了後に児童館や小学校の余裕教室などで、適切な遊びと生活の場を与えます。	23
子育て支援センター	子育て不安に対する相談・指導や子育てサークルへの支援など、地域の子育て家庭に対する支援を行います。	26
ファミリー・ サポート・センター	子育ての支援を受けたい人と行いたい人が会員登録し、保育園までの送迎、保育園終了後や買い物などの外出時の一時預かりなど、子育ての助け合いを行います。	26
子育て短期支援 (ショートステイ)	保護者が病気になった場合などに、児童福祉施設などで短期間（1週間程度）児童を預かります。	36
子育て短期支援 (トワイライトステイ)	就労などの都合により保護者の帰宅が常に夜間になる場合や休日勤務の場合などに、児童福祉施設などで一時的に児童を預かります。	36
夜間保育	保護者の就業形態・就業時間の多様化に対応するため、夜間まで保育を行います。	—

1 通常保育

アンケート調査から算出した推計ニーズ量については、国の示すニーズ算出基準では、将来必要を望む潜在的ニーズも加えたもので、必要と見込まれる最大の数値（園児数）であることから、平成22年度では、0歳児254人、1歳児341人、2歳児453人となっています。平成21年10月の保育園入園児童数は、0歳児45人、1歳児194人、2歳児243人で、推計ニーズ量とは、大きな差が見られます。従って、過去4年間の入園率を基本に、各年度の推計人口に応じて、推計児童数を算出します。

【3歳未満児推計児童数】

単位：人

年齢	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
						入園率
0歳児	49	48	48	47	47	0.052
1歳児	204	197	194	194	191	0.209
2歳児	261	255	247	242	243	0.259

また、3歳児から5歳児では、平成22年度の推計ニーズ量は、3歳児398人、4歳児448人、5歳児429人となっていますが、平成21年10月の保育園入園児童数は、3歳児431人、4歳児491人、5歳児483人となっており、推計ニーズ量の方が少なくなっています。また、3歳児から5歳児の入園率は、50%前後の割合で推移しています。従って、過去4年間の入園率を基本に、各年度の推計人口に応じて、推計児童数を算出します。

【3歳以上児推計児童数】

単位：人

年齢	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
						入園率
3歳児	446	484	473	458	449	0.477
4歳児	470	483	525	513	497	0.513
5歳児	527	474	486	528	516	0.517

通常保育の目標事業値は、各年度の推計児童数を基に、年齢別保育基準により算出した児童数とします。

単位：人

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
推計ニーズ量 (アンケート調査より)	2,323	2,278	2,294	2,292	2,274
目標事業量	1,957	1,941	1,973	1,982	1,943

①推計ニーズ量(アンケート調査より算出)

単位：人

対象年齢	推 計 ニ ー ズ 量				
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
0 歳児	254	251	251	246	243
1 歳児	341	328	321	324	318
2 歳児	453	443	428	418	421
3 歳児	398	432	423	409	400
4 歳児	448	437	475	465	472
5 歳児	429	387	396	430	420
計	2,323	2,278	2,294	2,292	2,274

②推計児童数(④推計児童数の算出を参照)

単位：人

対象年齢	推 計 児 童 数				
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
0 歳児	49	48	48	47	47
1 歳児	204	197	194	194	191
2 歳児	261	255	247	242	243
3 歳児	446	484	473	458	449
4 歳児	470	483	525	513	497
5 歳児	527	474	486	528	516
計	1,957	1,941	1,973	1,982	1,943

③4年間の10月1日の入園率を算出

A 児童数

単位：人

年 齢	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
0 歳児	34	35	29	45
1 歳児	148	145	178	194
2 歳児	180	175	206	243
3 歳児	477	460	476	431
4 歳児	548	509	475	491
5 歳児	575	555	525	483
計	1,962	1,879	1,889	1,887

※各年 10 月 1 日現在

B 人口

単位：人

年 齢	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
0 歳児	861	911	915	870
1 歳児	926	907	945	930
2 歳児	1,020	950	941	938
3 歳児	953	1,016	966	936
4 歳児	1,022	960	1,016	947
5 歳児	1,120	1,032	969	1,022
計	5,902	5,776	5,752	5,643

※各年 10 月 1 日現在

A÷B 入園率

年 齢	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
0 歳児	0.039	0.038	0.032	0.052
1 歳児	0.160	0.160	0.188	0.209
2 歳児	0.176	0.184	0.219	0.259
3 歳児	0.501	0.453	0.493	0.460
4 歳児	0.536	0.530	0.468	0.518
5 歳児	0.513	0.538	0.542	0.473
計	0.332	0.325	0.328	0.334

※入園率の推計値についての考え

3 歳未満児の入園率は、第三子保育料無料制度などにより高くなってきており、今後においてもその傾向が続くと予想されるため、21 年 10 月の入園率を使用する。なお、3 歳以上児については、4 年間の平均入園率を使用する。

0 歳児→0.052	3 歳児→0.477
1 歳児→0.209	4 歳児→0.513
2 歳児→0.259	5 歳児→0.517

④推計児童数

【平成 22 年度】

単位：人

年 齢	推計人口	推計児童数	入園率 【基本】
0 歳児	933	49	0.052
1 歳児	975	204	0.209
2 歳児	1,006	261	0.259
3 歳児	934	446	0.477
4 歳児	915	470	0.513
5 歳児	1,018	527	0.517
計	5,781	1,957	

【平成 23 年度】

単位：人

年 齢	推計人口	推計児童数	入園率 【基本】
0 歳児	915	48	0.052
1 歳児	942	197	0.209
2 歳児	983	255	0.259
3 歳児	1,013	484	0.477
4 歳児	941	483	0.513
5 歳児	915	474	0.517
計	5,709	1,941	

【平成 24 年度】

単位：人

年 齢	推計人口	推計児童数	入園率 【基本】
0 歳児	919	48	0.052
1 歳児	924	194	0.209
2 歳児	950	247	0.259
3 歳児	990	473	0.477
4 歳児	1,023	525	0.513
5 歳児	940	486	0.517
計	5,746	1,973	

【平成 25 年度】

単位：人

年 齢	推計人口	推計児童数	入園率 【基本】
0 歳児	902	47	0.052
1 歳児	925	194	0.209
2 歳児	931	242	0.259
3 歳児	959	458	0.477
4 歳児	999	513	0.513
5 歳児	1,021	528	0.517
計	5,737	1,982	

【平成 26 年度】

単位：人

年 齢	推計人口	推計児童数	入園率 【基本】
0 歳児	889	47	0.052
1 歳児	910	191	0.209
2 歳児	935	243	0.259
3 歳児	941	449	0.477
4 歳児	967	497	0.513
5 歳児	998	516	0.517
計	5,640	1,943	

2 延長保育

延長保育時間について、アンケート調査では、午後7時以降の保育希望者はありませんでした。平成21年度から布袋北保育園を午後8時まで時間延長し、他の保育園は、午後7時まで実施していますが、今後、保護者の就労時間の多様性を考え、また、保護者ニーズを踏まえた上で、もう1園で午後8時まで実施を計画します。なお、現在の利用状況では、平成20年10月現在で午後4時以降634人です。

早朝保育時間については、現在、全園で午前7時30分から実施していますが、今回のアンケート調査で午前7時30分前の希望者は実数で26人ありました。また、現在の利用者からも、もう少し早い時間帯での開始を望む声もあり、2園で午前7時からの実施を計画します。

現 状 値		推 計 ニ ー ズ 量	目 標 事 業 値
1園	午前7時30分～午前8時 午後4時～午後8時	午前7時30分前の希望者 実数 26人	2園 午前7時～午前8時 午後4時～午後8時
17園	午前7時30分～午前8時 午後4時～午後7時	午後7時以降の希望者実数 実数 0人	16園 午前7時30分～午前8時 午後4時～午後7時

3 一時保育

4 特定保育

一時保育、特定保育（1か月あたりおおむね64時間以上で週2、3日程度）については、現在2園で実施し、定員は合わせて20人です。

推計ニーズ量では、1日26人の希望となっており、年間7,800人となっていますが、平成20年度の利用実績は3,477人で推計ニーズ量と比較すると、約2.2倍の差が見られます。過去3年間の利用実績は、年々増加しておりますが、現在の2園で希望者に対応できることから、実施園の増設については、今後の保護者のニーズにより検討します。

【過去3年間利用者数及び延利用日数】

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数（人）	191	189	154
延利用日数（日）	2,889	3,207	3,477

現状値	推計ニーズ量	目標事業値
2園 定員20人	1日26人	2園 定員20人

5 休日保育事業

休日保育については、保護者の勤務などにより日曜、祝日に保育園で児童を保育することであり、現在は実施していません。

推計ニーズ量では、204人ありますが、1園（40人程度）で実施を計画し、保育園の保護者のニーズを把握するとともに、実施時期を検討してまいります。

現状値	推計ニーズ量	目標事業値
未実施	204人	1園 40人

6 病児・病後児保育

保育園などへ通園中の児童が病気・病気回復期にある場合に、医療施設、保育園で一時的に預かる事業で、現在は実施していません。

推計ニーズ量では、5,595日、1日あたり約19人となっていますが、現在実施している他市の状況では、1日あたり1人から2人であることから、目標事業値は1施設1日あたり4人を見込みます。

現在、実施する医療施設がないため、今後も市内の小児科医院での開設を働きかけていきますが、実施までの期間は、現在の利用料助成制度を続けていきます。

現 状 値	推 計 ニ ー ズ 量	目 標 事 業 値
利用料の助成	5,595日	1,200日【1施設 定員4人】

7 学童保育(放課後児童健全育成)

学童保育(放課後児童健全育成)については、小学1年生から3年生を対象に小学校の余裕教室、児童館などの施設を利用して10か所で実施しています。

推計ニーズ量では、週1回以上の利用希望の児童数は、1,373人となっていますが、平成21年4月の利用定員は、456人(受入可能定員635人)で利用申込み者数は、633人であり、推計ニーズ量とは、大きな差が見られますが、定員を超える申込者がいる施設もあります。

今後においても、小学校の余裕教室の利用などに努め、受入可能定員の増員を計画します。また、学童保育時間を保育園の延長保育時間との整合性から午後7時に拡大を希望する保護者の声も多く、午後7時までの拡大を計画します。

現 状 値	推 計 ニ ー ズ 量	目 標 事 業 値
10か所	1,373人	10か所 定員の増員と時間延長

8 子育て支援センター

平成21年7月に第2子育て支援センターを宮田保育園内で新設し、以前の交通児童遊園内との2か所で子育てに関する相談や情報提供、ほほえみ広場の開催、子育てサークルの育成などの事業を実施しています。

利用者から、身近な場所での設置を希望する声もあり、もう1か所の新設を計画していきます。

【利用組数・相談件数の状況】

年 度	利用者（組）	相談件数（件）
平成17年度	6,456	616
平成18年度	7,632	626
平成19年度	7,664	1,117
平成20年度	7,297	1,068

現 状 値	目標事業値	今 後 の 事 業 計 画
2か所	3か所	1か所の新設を図るとともに、子育て支援情報の提供、育児不安の解消に努めます。

9 ファミリー・サポート・センター

平成14年4月に会員による子育ての相互援助活動事業として「江南市ファミリー・サポート・センター」を設置し、同年10月から活動を開始しました。

平成21年3月末会員登録数は、414人です。

【ファミリー・サポート・センター会員数の状況】

単位：人

年 度	援助会員	依頼会員	両方会員	計
平成18年度	55	312	29	396
平成19年度	62	320	31	413
平成20年度	67	314	33	414

現 状 値	目標事業値	今 後 の 事 業 計 画
1か所	1か所	引き続き会員募集や講習会、会員交流会などを実施し、育児の相互援助活動事業の充実を図ります。

10 子育て短期支援(ショートステイ)

子育て短期支援（ショートステイ）については、市内に受入施設がないため、市外の施設を利用します。目標事業値については、利用実績がないため、現在委託している4施設で月に6日程度の利用を見込みます。

現 状 値	目 標 事 業 値
4 施設	4 施設 【月に1人6日】

11 子育て短期支援(トワイライトステイ)

子育て短期支援（トワイライトステイ）については、現在実施していませんが、市外の子育て短期支援（ショートステイ）を依頼している施設での実施を計画します。目標事業値については、3施設で月に1人2日程度を見込みます。

現 状 値	目 標 事 業 値
未実施	3 施設 【月に1人2日】

12 夜間保育

アンケート調査においては、希望はありませんでした。

今後の保護者のニーズにより検討します。

5 江南市次世代育成支援行動計画策定協議会設置要綱・委員名簿**1 江南市次世代育成支援行動計画策定協議会設置要綱**

(設置)

第1条 次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図ることを目的とした、次世代育成支援行動計画（以下「計画」という。）の策定に資するため、次世代育成支援行動計画策定協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、計画の策定に向けて意見を述べ、計画策定に関し必要な事項を研究、検討する。

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、優れた識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長を置き、その選出は委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員)

第5条 委員の任期は、第2条に規定する計画の策定に関する研究、検討の終了をもって終わるものとする。

2 委員が退職しようとするときは、会長を経て市長に申し出なければならない。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、健康福祉部子育て支援課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成16年1月20日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年10月10日から施行する。

2 江南市次世代育成支援行動計画策定協議会委員名簿

(敬称略、50音順)

氏 名	役 職 名 簿
伊 藤 鶴 吉	江南市私立幼稚園協会会長
宇佐見 くるみ	市立保育園保護者会連合会会長
大 森 悟	子ども会連絡協会代表
大 脇 記 子	子育てサークル代表
葛 西 直 示	一般公募
沓 名 珠 子	勤労者母親代表
倉 地 一 也	主任児童委員
千 田 健 三	小中学校校長会代表
中 根 元 彦	民生児童委員協議会会長
長 尾 恵利世	一般公募
長 崎 慶 子	一般公募
松 尾 昌 之	愛知江南短期大学教授
松 岡 清 司	江南市社会福祉協議会会長
本 樫 茂	一宮児童相談センター長
元 島 レイ子	江南市健康ボランティア代表

6 江南市次世代育成支援行動計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図ることを目的とした、次世代育成支援行動計画（以下「計画」という。）を策定するため、次世代育成支援行動計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画立案のための調査及び研究に関すること。
- (2) 計画原案の検討及び調整等に関すること。
- (3) その他市長が命ずる事項の処理に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員23人以内で組織する。

- 2 委員会の委員長は副市長とし、副委員長は健康福祉部長を充てる。
- 3 委員会の委員は、市職員のうちから市長が任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する計画の策定に関する調査、研究等の終了をもって終わるものとする。

(委員長及び副委員長の職務)

第5条 委員長は、会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、健康福祉部子育て支援課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成16年1月20日から施行する。

附 則

江南市少子化対策調査研究会議設置要綱（平成12年4月1日）は、廃止する。

附 則

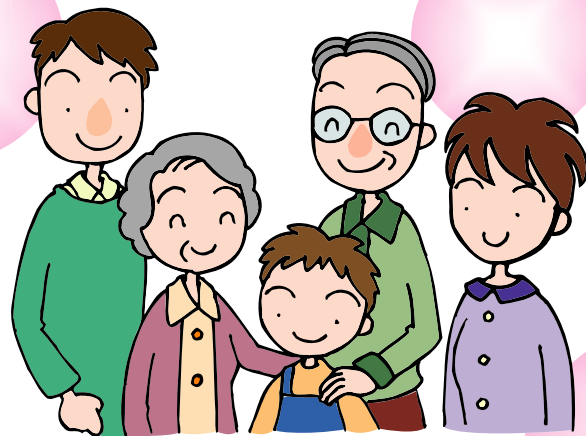
この要綱は、平成20年10月10日から施行する。

【委員構成】

副市長、健康福祉部長、子育て支援課長、健康づくり課長、福祉課長、防災安全課長、産業振興課長、まちづくり課長、土木建築課長、地域協働課長、教育課長、生涯学習課長及び関係課の所属する部から女性5名

7 計画の策定経過

日付	内容
H21. 2. 4	第1回次世代育成支援行動計画策定委員会 (委員長:副市長) ・次世代育成支援行動計画策定のためのアンケート調査について
H21. 2. 18	第1回次世代育成支援行動計画策定協議会 (会長:松尾昌之、副会長:長尾恵利世) ・次世代育成支援行動計画策定のためのアンケート調査について
H21. 2. 18~3. 9	アンケート調査実施
H21. 5. 15	第2回次世代育成支援行動計画策定委員会 ・アンケート調査結果について
H21. 6. 8	第2回次世代育成支援行動計画策定協議会 ・アンケート調査結果について
H21. 6. 30	第3回次世代育成支援行動計画策定委員会 ・前期計画の進捗状況の確認と後期計画への反映について ・後期計画の基本的な視野と目標について ・後期計画施策の体系について
H21. 7. 7	第3回次世代育成支援行動計画策定協議会 ・前期計画の進捗状況の確認と後期計画への反映について ・後期計画の基本的な視野と目標について ・後期計画施策の体系について
H21. 7. 31	第4回次世代育成支援行動計画策定委員会 ・後期計画の理念・視点・目標・施策の体系について ・後期計画の平成26年度目標値について
H21. 9. 3	第4回次世代育成支援行動計画策定協議会 ・後期計画の理念・視点・目標・施策の体系について ・後期計画の平成26年度目標値について
H21. 9	関係団体へのヒアリング調査
H21. 10. 5	第5回次世代育成支援行動計画策定委員会 ・計画書素案について
H21. 10. 22	第5回次世代育成支援行動計画策定協議会 ・計画書素案について
H. 21. 12. 1~12. 31	後期計画パブリックコメント実施
H. 22. 2. 1	第6回次世代育成支援行動計画策定委員会 ・計画書案について
H. 22. 2. 15	第6回次世代育成支援行動計画策定協議会 ・計画書案について



江南市次世代育成支援行動計画
後期計画 計画書

平成22年3月

発行 江南市

編集 健康福祉部 子育て支援課

〒483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀90

電話 0587-54-1111

